

準 抗 告 申 立 書

令和2年6月1日

東京地方裁判所刑事第14部 御中

被 疑 者 相 嶋 夫

弁 護 人 高 田 剛

弁 護 人 河 村 尚

弁 護 人 小 林 貴 樹



上記被疑者に対する外国為替及び外国貿易法違反被疑事件について、令和2年5月28日付け東京地方裁判所刑事第14部裁判官がなした勾留の裁判に対し、下記のとおり準抗告を申し立てる。

第1 申立ての趣旨

原裁判を取り消し、検察官の勾留請求を却下する
との決定を求める。

第2 申立ての理由

1 総論

原裁判は、刑事訴訟法第60条1項2号及び3号の事由があるとして被疑者の勾留を認めたものであるが、以下のとおり、検察官の勾留請求は違法である上、被疑者には罪証を隠滅すると疑うに足りる相当な理由も逃亡すると疑うに足りる相当な理由もないほか、勾留の必要性もない。

2 本件勾留請求の違法性

- (1) 本件においては、被疑者が顧問を務めていた大川原化工機株式会社(以下「本件会社」という。なお、被疑者は令和2年3月31日付けで本件会社の顧問を退任しており、現在被疑者と本件会社との間には何らの関係もない。)に対する警察の任意捜査が先行していたものであるが、この任意捜査は平成30年10月から始まり、①警察による複数回にわたる本件会社の搜索差押及び②本件会社の任意提出により、多数の証拠物が押収されたほか、③本件会社の従業員ら多数の参考人の多数回にわたる取調べ及び④被疑者の多数回にわたる取調べにより、多数の供述調書が作成された。

すなわち、そもそも任意捜査によって多くの証拠が収集されていた。

- (2) その上で、被疑者は令和2年3月11日に外国為替及び外国貿易法違反被疑事件により逮捕・勾留され、同月31日、同罪により公判請求されている(別紙1)。この勾留期間中にも本件会社の従業員らが警察及び検察官の取調べを受け、検察官面前調書も複数作成された。検察官はこうした捜査により証拠が十分に得られたと思料したからこそ、上記公判請求に至ったはずである。
- (3) ここにおいて、被疑者が既に起訴されている上記事件の公訴事実、本件被疑事実とほぼ同様の機械を中華人民共和国に輸出したというものであり、したがって上記任意捜査及び強制捜査の過程で収集された証拠のほぼ全てが本件被疑事実の証拠と共通するはずである。
- (4) さらに、被疑者は、上記公判請求後から本件被疑事実による逮捕までの間、

起訴済みの公訴事実によって勾留されていたばかりか接見禁止処分まで受けていたのであるから、検察官はこの間に必要な参考人の取調べを行うことができたはずである。検察官は新型コロナウイルスの流行等による捜査態勢の限界があったなどと主張するであろうが、強大な捜査権限を持つ側にこのような安易な言い訳が許されるはずがない。まして、本件会社は検察官に対し、速やかに本件会社の従業員を取り調べるよう書面により求めていたのであり（別紙2）、捜査に協力する姿勢を明らかにしていた。すなわち、検察官には上記起訴後に十分な余罪捜査の余裕が与えられていたのである。

- (5) しかるに検察官が本件勾留請求に及んだのは、本件被疑事実による勾留期間中に被疑者を取り調べて自白を得ようとの目的にほかならない。

本件被疑事実、既に起訴済みの公訴事実と輸出したとされる機械の種類が異なるだけである。それぞれの機械ごとに、外国為替及び外国貿易法違反の構成要件該当性が問題となるという意味では、既に起訴済みの公訴事実と本件被疑事実は別の事実であるが、それは被疑者らの供述に依拠するのではなく、客観的な機械の性能等が証拠となる。一方、被疑者らの認識や共謀の有無といった事実については、本件被疑事実と既に起訴済みの事実とで異なる事実は何もなく、ほぼ全ての事実が共通するものである。この点、上述のとおり、長期間にわたる任意捜査と強制捜査によって捜査は尽くされている（なお、上記起訴済みの事件は公判前整理手続に付されており、公判担当検察官が裁判所に証明予定事実記載書を提出している上、一応の証拠を弁護人に開示している。別紙3ないし5）。さらに、上記起訴済み事件の被疑者勾留期間中、警察及び検察官は被疑者の黙秘権を不当に侵害する取調べを継続して行っていたこと（別紙6）を合わせ考えると、検察官が本件勾留請求に及んだのは、その勾留期間中に被疑者を取り調べて、前回の強制捜査中に得られなかった自白を獲得しようとの目的でしかない。

このとおり、本件被疑事実は形式的には上記起訴済みの公訴事実とは別の事実にはなるが、被疑者らの認識や共謀といった被疑者らの供述が意味を持つ

点については事実と証拠のほぼ全てが共通しているのだから、本件勾留請求は、実質的には上記起訴済み事件の正真正銘の再逮捕・再勾留に等しい。

そして、被疑者は上記事件により起訴されて被告人となっているところ、それにもかかわらず上記起訴済みの事件と実質的に等しい本件被疑事実による取調べを行うことは、公判の当事者たる被告人を、しかも自白獲得の目的で取り調べることであり、すなわち本件勾留請求は自白獲得目的・取調目的の勾留を認めていない刑訴法60条1項に違反するほか、被告人の当事者たる地位を明白に侵害する違法なものである。

3 被疑者が罪証を隠滅すると疑うに足りる相当な理由がない

- (1) 上述のとおり、本件においては上記任意捜査及び強制捜査によって十二分に証拠が収集されており、もはや被疑者がいかなる罪証であろうと隠滅することはそもそも不可能である。
- (2) もっとも、検察官は「被疑者が共犯者や他の関係者と通謀して口裏合わせをするおそれがある」などと主張するであろう。しかしながら、本件では、1年以上にわたる任意捜査のなかで、被疑者をはじめ共犯者とされている者及び本件会社従業員らは多数回の取調べを受け、すでに供述調書も数多く作成されているのであるから、今さら被疑者に口裏合わせを行う動機などない。

他方で、上記長期間にわたる任意捜査が行われた本件において、仮にそうした口裏合わせが行われたとしたら、もはや被疑者を勾留したところで防ぎようがないはずである。また、上述のような任意捜査及び強制捜査を行ったのだから、仮に口裏合わせがあったとしても、その事実を明らかにし、かつその口裏合わせを突き崩す証拠がないはずがない。さらに、上述のとおり公判担当検察官が本件会社従業員の供述調書も含む一応の証拠を開示しているのも、もはや口裏合わせによる罪証隠滅の危険がないと判断したからであろう。

4 被疑者が逃亡すると疑うに足りる相当な理由がない

上述のとおり、被疑者は本件の任意捜査中に多数回にわたる任意の取調べに応じており、この一事のみからも被疑者が逃亡することはあり得ない。

また、被疑者は、義父（被疑者の妻の父親）が令和２年５月２７日に亡くなったことから、その葬儀に参列するため同月２９日付け勾留執行停止決定を受け（別紙７、別紙８）、同月３１日午前１０時から同月３１日午後６時３０分まで勾留の執行を停止されて外出した。その間、被疑者は裁判所が付した条件を厳に遵守し、勾留執行停止期間が終了するまでに警視庁大崎警察署へ出頭している。このような被疑者の態度からも被疑者が逃亡するおそれなどないことが裏付けられる。

５ 勾留の必要性がない

被疑者は７１歳と高齢である上、平成１７年頃から高血圧を、平成２０年頃から糖尿病及び不整脈を患っており、月１回の頻度で通院を続けていたほか、降圧剤及び糖尿病用の内服薬等の薬の服用を続けていた。また、被疑者は約１５年前に右大腿部の脂肪肉腫（癌の一種）を発症し、右大腿部の脂肪組織を筋肉ごと切除しており、現在も右大腿部の痛み、筋力低下及び右膝の可動域の制限が残っているとともに、足腰が弱っており、歩行にも支障を来している。このような被疑者を勾留すればその疾病が悪化するおそれは大きく、すなわち勾留の必要性がない。なお、検察官からの「勾留場所において同じ薬が提供されている」との反論があるだろうが、それは当然のことであるし、それなら勾留せずに今までどおりの通院をさせることこそが捜査及び刑事司法の謙抑性の要請のはずである。また、現時点で被疑者が被告人勾留されているからと言って、本件勾留に耐えられると判断してはならない。

６ 結論

以上より、被疑者に対する勾留決定は直ちに取り消されるべきである。

以上

起 訴 状

令和 2年 3月31日

東京地方裁判所 殿

東京地方検察庁

検察官 検事 塚 部 貴 子

下記被告事件につき公訴を提起する。

記

本店の所在地 [REDACTED]

法人の名称

大川原化工機株式会社

代表者の住居 [REDACTED]

代表者の氏名

大川原 正明

本 籍

[REDACTED]

住 居

職 業

会社役員

勾留中

大川原 正明

昭和24年 [REDACTED] 生

本 籍

[REDACTED]

住 居

職 業

会社顧問

勾留中

相嶋 静夫

昭和23年 [REDACTED] 生



本 籍
住 居
職 業

会社役員

勾留中

島田 順司

昭和28年 生

公 訴 事 実

被告人大川原化工機株式会社（以下「被告会社」という。）は、横浜市
に本店を置き、噴霧造粒装置並びに関連する技術と装置の研究、設計、製造及び販売等を業とするもの、被告人大川原正明は、被告会社の代表取締役として、その業務全般を統括するもの、被告人相嶋静夫は、被告会社の顧問として、社長特命室で被告人大川原の業務を補佐するもの、被告人島田順司は、被告会社の取締役として、社長特命室で海外営業開拓に関する業務等に従事していたものであるが、被告人3名は、共謀の上、外国為替及び外国貿易法48条1項に基づき国際的な平和及び安全の維持を妨げることとなると認められるものとして政令で定める特定の地域を仕向地とする特定の種類の貨物であり、かつ、核兵器等又はその開発等のために用いられるおそれが特に大きいと認められる貨物として政令で定める貨物であって、軍用の細菌製剤の開発、製造若しくは散布に用いられる装置又はその部分品であるもののうち省令で定める仕様の噴霧乾燥器1式（輸出申告価格1776万3100円）を、経済産業大臣の許可を受けないで、中華人民共和国に輸出しようと考え、被告会社の業務に関し、同大臣の許可を受けないで、平成28年6月2日、横浜市
地所在の
において、情を知らない倉庫会社係員らをして、前記噴霧乾燥器1式を船積みさせ、中華人民共和国に向けて輸出したものである。

罪 名 及 び 罰 条

外国為替及び外国貿易法違反 同法72条1項（平成29年法律38号による改正前のもの）、69条の6第2項2号（同法律による改正前のもの）、48条1項、輸出貿易管理令1条1項、同令13条（平成29年政令195号による改正前のもの）、同令別表1の3の2の項（2）5の2、輸出貿易管理令別表第1及び外国為替令別表の規定に基づき貨物又は技術を定める省令2条の2第2項5の2、被告人大川原、同相嶋及び同島田につき更に刑法60条

これは謄本である。

前 同 日

東京地方検察庁

検察事務官

奥 野

剛

令和2年4月6日

東京地方検察庁検事正 殿
同次席検事 殿
同公安部長 殿
同公安副部長 殿
同検事 塚部貴子 殿

大川原化工機株式会社
管理部

被疑者大川原正明、被疑者相嶋静夫、及び被疑者島田順司に対する外国為替及び外国貿易法違反被疑事件について、令和2年3月30日以降、弊社役員及び従業員を参考人とする取り調べに関し、コロナの影響により日程調整が進まず、今後の見通しが立たない状況となっております。

弊社としましても各役員及び従業員の業務調整等の支障もございますので、弊社役員及び従業員に対する参考人取り調べの必要があるのであれば、できる限り早期に、弊社管理部宛に、日程調整のご連絡を頂戴できますようお願い申し上げます。

以上

証明予定事実記載書

令和2年5月18日

東京地方裁判所刑事第13部 殿

東京地方検察庁

検察官 検事 長 好 行

被告法人大川原化工機株式会社、被告人大川原正明、同相嶋静夫、同島田順司に対する 外国為替及び外国貿易法違反 被告事件につき、検察官が証拠により証明しようとする事実、下記のとおりである。

記

第1 犯行に至る経緯等

主な証拠

- 1 被告法人大川原化工機会社（以下「被告会社」という。）は、昭和55年に噴霧乾燥機の製造・販売等を主事業として設立され、昭和62年、被告人大川原正明（以下「被告人大川原」という。）が代表取締役就任し、被告会社の業務全般を統括していた。
- 乙1, 3, 4, 10, 11, 16~18, 28, 33

被告人相嶋静夫（以下「被告人相嶋」という。）は、昭和60年頃、被告会社に入社し、平成19年専務取締役経営企画室長となり、平成26年に取締役を退任し顧問となったが、社長特命室（経営企画室から改称）で、被告人大川原の業務を補佐していた。

被告人島田順司（以下「被告人島田」という。）は、昭和61年、被告会社に入社し、平成14年取締役就任し、平成24年から、社長特命室で海外営業開拓に関する業務等に従事していた。

- 2 平成22年12月、化学・生物兵器の開発・製造に使用し得る製造設備等の輸出規制に関する国際会議であるオーストラリア・グループ（以下「AG」という。）において、噴霧乾燥機の輸出
- 甲28, 29

規制の追加について議論が開始され、経済産業省は、その規制の必要性判断のため、平成23年2月、一般財団法人安全保障貿易情報センター（以下「システック」という。）の技術専門者ワーキンググループ委員を兼務する安全保障貿易管理調査員■■■■らによる調査を開始した。

- 3 システック及び経済産業省は、噴霧乾燥器の国内リーディングカンパニーであった被告会社からヒアリングを行うことにし、同年4月20日頃、システックの会議室で行われたヒアリングの席で、経済産業省担当者■■■■らが、安全保障貿易管理制度の概要及び噴霧乾燥器が規制対象になりそうである旨を説明し、被告人島田らは、噴霧乾燥器について説明をした。

甲28, 29
乙19, 20

- 4 同年6月、■■■■は、AG総会に出席したが、各国の意見がまとまらず、議論は持ち越しとなった。

甲28

- 5 ■■■■らは、噴霧乾燥器の規制条件を確認するため、平成24年1月24日、被告会社を訪れ、被告人島田らからヒアリングを行った。その際、■■■■らは、AGにおいて、規制される噴霧乾燥器の条件について、

甲28
乙18

イ 水分蒸発量が1時間当たり0.4キログラム以上400キログラム以下

ロ 10マイクロメートル以下の微粒子サイズの製品を製造できる能力があること

ハ 定置した状態で滅菌又は殺菌ができるもの

という内容が提示されていたことから、対象となる機器を特定できるのか、規制に対する民間企業としての意見はどのようなものかを確認するための質問をしたが、被告人島田は、「スプレードライヤ（噴霧乾燥器を指す）中での滅菌、殺菌の概念はない」、「入り口温度から出口温度までを100度等高い温度で保つと滅菌、殺菌できる」などと回答した。

- 6 ■■■■は、同年2月14日から16日に開催されたAG中間会合において、被告会社でのヒアリング等を踏まえ、「定置した状態で滅菌又は殺菌ができるもの」は、凍結乾燥器と同様に蒸気滅菌に限定すべきとの提案をしたが、他のAG参加国は全て元の規制

甲28

案に合意し、本邦の提案は受け入れられなかった。

- 7 前記AG中間会合の結果を受けて、[]らは、同月23日、シ
ステックにおいて、被告会社のヒアリングを行い、定置した状態
で滅菌又は殺菌できるものという条件は、蒸気滅菌に限定すべき
であるとの本邦の提案は他国の賛同が得られず、このまま規制案
が合意になる見込みである旨説明したところ、出席していた被告
人相嶋は、「このままでは輸出できなくなるじゃないか」などと
激高し、また、「殺菌できるものでは菌が残っている状態もある
ので、生物兵器製造装置としては適さず、他の製造装置で規定さ
れている考え方と同じく蒸気滅菌にするべき」などと発言し、被
告人島田も被告人相嶋と同様の意見を述べた。 甲28, 29
乙12, 19, 20
- 8 その後、[]は、被告会社のヒアリングを踏まえ、他のAG参
加国に個別の質問メールを送って回答を得た上、被告人島田にメ
ール又は電話で、「滅菌、殺菌方法については、蒸気滅菌を含む
全ての滅菌、殺菌方法とする」「乾燥滅菌でもある程度滅菌がで
きるということなので、滅菌及び殺菌の方法を指定せず、包括
的な文言にせざるを得ない」旨を伝えた。 甲28, 29
乙12, 21
- 9 同年4月11日、AGにおいて、同年2月の中間会合で示され
た規制案がそのまま正式に合意され、[]は、その旨を被告人島
田らにメールで伝えた。 甲28
乙21, 22
- 10 その後、経済産業省では、前記合意に基づき、国内法の改正
を進めた。 甲1, 2, 28
- 11 被告人島田は、同年12月、[]とメールをやりとりし、A
G合意の規制文の「capable of drying toxins or pathogenic microorga
nisms」の表現を邦訳に反映させ、規制対象となる噴霧乾燥器に
ついて、「毒素や病原性を持つ微生物を乾燥できるという特徴を
持つ噴霧乾燥器」と特定するよう求めた。 甲28
乙7, 23
- 12 経済産業省担当者[]は、平成25年8月19日、経
済産業省において、パブリックコメントに関し、被告会社のヒア
リングを行ったが、その際、被告人大川原、同島田らは、AG規
制文（英文）と邦訳（省令部分イロハ）を比較すると、英文によ
り定義される範囲と、邦訳で定義される範囲に相違があり、不整
 甲30, 31
乙24～26

合が生じているなどと意見を述べ、翌20日、被告会社は、パブリックコメントに同趣旨の意見を提出した。また、被告会社の関連会社である株式会社大川原製作所の常務取締役[REDACTED]は、被告人大川原の依頼を受けて、前記ヒアリングに同席するとともに、同月22日、パブリックコメントに、解釈案に「毒素や病原性を持つ微生物を乾燥できるという特徴を持つ噴霧乾燥器」という文言を加えるべきなどとする意見を提出した。

- 13 しかしながら、被告会社らの主張は通らず、同年10月15日、改正法が施行され、輸出貿易管理令別表第1及び外国為替令別表の規定に基づき貨物又は技術を定める省令（以下「貨物等省令」という。）2条の2第2項5の2において、

噴霧乾燥器であって、次のイからハまでの全てに該当するもの

イ 水分蒸発量が1時間当たり0.4キログラム以上400キログラム以下のもの

ロ 平均粒子径10マイクロメートル以下の製品を製造することが可能なもの又は噴霧乾燥器の最小の部分品の変更で平均粒子径10マイクロメートルの製品を製造することが可能なもの

ハ 定置した状態で内部の滅菌又は殺菌をすることができるものと定められた（以下「貨物等省令3要件」という）。

- 14 被告会社では、噴霧乾燥器の輸出規制について、被告人島田が、実務担当者として経済産業省等との折衝を行い、被告人大川原、同相嶋に報告、相談しながら対応していたが、同年9月下旬頃、被告人3名において対応を検討した際、被告人らは、被告会社の主張が反映されなかった改正法の規定によれば、被告会社の噴霧乾燥器が輸出規制の対象となることを認識していたものの、被告人大川原が、被告会社の噴霧乾燥器は貨物等省令3要件には該当しないと言いつのって、輸出をし続けることとし、遅くとも同年10月頃には、被告人3名において、同方針によることを合意した。

- 15 前記改正法施行後、被告会社は、前記方針に従い、自社噴霧乾燥器は貨物等省令3要件を満たさないとして、経済産業大臣の

許可を得ることなく、噴霧乾燥器の輸出を継続した。

第2 犯行状況等

公訴事実記載のとおりである。

第3 その他情状等

乙2, 8, 1
4, 29, 30
甲3~27, 3
1, 36
乙9, 14, 1
5, 31
乙1, 10, 1
6, 33~36

以 上

証 拠 調 べ 請 求 書

令和2年5月18日

東京地方裁判所刑事第13部 殿

東京地方検察庁

検察官 検事 長 好 行 

被告人 大川原化工機，大川原正明，相嶋静夫，島田順司 に対する 外国為替及び外国貿易法違反 被告事件につき，別紙証拠等関係カード記載の証拠の取調べを請求する。

証 拠 等 関 係 カ ー ド （ 甲 ） （No. 1）

（このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。）

番号	標 目 [供述者・作成年月日、住居・尋問時間等]	請 求		意 見		結 果			備 考 編てつ箇所
		期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	取 調 順 序	
1	報（外為法等適用関連法令の変遷について） 〔（員）  〕 30.1.17 関連法令の変遷状況等 ()		A B C D						
2	報（運用通達・適用法令の解釈） 〔（員）  〕 29.12.22 関連通達の内容等 ()		A B C D						
3	写真撮影報告書（噴霧乾燥器RL-5） 〔（員）  〕 29.9.27 本件輸出貨物と同型の噴霧乾燥器（RL-5）の形状等 ()		A B C D						
4	分析結果報告書（被疑会社製品カタログ） 〔（員）  〕 29.11.13 被疑会社製品カタログの記載内容等 ()		A B C D						
5	証拠品複写報告書（試運転データ表） 〔（員）  〕 30.7.13 本件輸出貨物と同型の噴霧乾燥器（RL-5）の試運転データ等 ()		A B C D						

(被告人 A 大川原 化工 機 備 C 相 嶋 静 夫)
B 大 川 原 正 明 D 島 田 順 司)

証拠等関係カード(甲) (No. 2)

(このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。)

番号	標 目 〔供述者・作成年月日、住居・尋問時間等〕	請 求		意 見		結 果				備 考
		期 日	関係被告人	期 日	関係被告人	期 日	関係被告人	内 容	取調順序	
	立 証 趣 旨 (公 訴 事 実 の 別)									編てつ箇所
6	聴取及び資料入手結果報告書 (平均粒子径について) 〔(員) 〇〇〇〇〇〇 〇〇. 〇. 〇〇〕 30. 7. 13 本件輸出貨物と同型の噴霧乾燥器 (R L ー 5) による粉末製品の平均粒子径等 ()		A B C D							
7	訂正報告書 〔(員) 〇〇〇〇〇〇 〇〇. 〇. 〇〇〕 1. 6. 13 甲6の訂正 ()		A B C D							
8	温度測定結果報告書 (RL-5内部における最 低温を示す箇所) 〔(員) 〇〇〇〇〇〇 〇〇. 〇. 〇〇〕 30. 4. 10 本件輸出貨物と同型の噴霧乾燥器 (R L ー 5) 内部の乾熱温度の測定結果等 ()		A B C D							
9	温度計測結果報告書 (RL-5バグ フィルタ下部) 〔(員) 〇〇〇〇〇〇 〇〇. 〇. 〇〇〕 30. 7. 23 本件輸出貨物と同型の噴霧乾燥器 (R L ー 5) 内部の最低温箇所の温度測定結果 等 ()		A B C D							
10	員 〇〇〇〇〇〇 〇〇. 〇. 〇〇 30. 9. 13 乾熱により、大腸菌、ウエルシュ菌の殺 菌が可能であること等 ()		A B C D							

(被
告
人
複
数
用
)(被告人 A 大川原化工機(株) C 相 嶋 静 夫)
B 大川原 正 明 D 島 田 順 司)

証拠等関係カード(甲) (No. 3)

(このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。)

番号	標 目 〔供述者・作成年月日、住居・尋問時間等〕	請 求		意 見		結 果			備 考
		期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	取 調 順 序	
11	員 [] 30.7.31 乾熱により、芽胞を形成しない菌を全て死滅させ感染能力を失わせることができること等 ()		A B C D						編てつ箇所
12	訂正報告書 〔(員) [] 30.7.31 甲11の訂正 ()		A B C D						
13	員 [] 30.3.28 生物テロに使われる病原菌、それらに対する規制等 ()		A B C D						
14	捜照(膳) 〔(員) [] 30.8.3 本件輸出貨物が規制対象に該当するか否かの照会 ()		A B C D						
15	捜査関係事項照会書に対する回答について 経済産業省貿易経済協力局貿易管理部安全保障 〔貿易管理課長 [] 30.8.10 甲14の回答 ()		A B C D						

(被告人複数用)

(被告人 A 大川原化工機(株) C 相 嶋 静 夫)
B 大川原 正 明 D 島 田 順 司)

証拠等関係カード(甲) (No. 4)

(このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。)

番号	標 目 [供述者・作成年月日、住居・尋問時間等]	請 求		意 見		結 果				備 考 編てつ箇所
		期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	取 調 順 序		
立 証 趣 旨 (公 訴 事 実 の 別)				内 容				内 容		
16	員 [] 1.6.14 本件噴霧乾燥器は要件イ～ハに該当する と思われると判断したこと等 ()		A B C D							
17	検 [] 2.4.3 被告会社製噴霧乾燥器で分解しない状態 で乾燥殺菌を行っていること等 ()		A B C D							
18	検 [] 2.4.3 被告会社製噴霧乾燥器は要件ハに該当す ると考えられること等 ()		A B C D							
19	検 [] 2.3.23 同業他社(株式会社GF)においては、 輸出許可を得て噴霧乾燥器を輸出してい ること等 ()		A B C D							
20	捜照(謄) (員) [] 30.8.3 被告会社における輸出の個別許可の有無 の照会 ()		A B C D							

(被 告 人 複 数 用)

(被告人 A 大川原 化工 機 械 C 相 嶋 静 夫)
B 大 川 原 正 明 D 島 田 順 司)

請求者等 検 察 官			令和2年特（わ）第858号						
証 拠 等 関 係 カ ー ド （ 甲 ） （No. 5 ）									
（このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。）									
番号	標 目 〔供述者・作成年月日、住居・尋問時間等〕	請求 期 関係 日 被告人	意 見 期 関係 日 被告人		結 果 期 関係 日 被告人			取 調 順 序	備 考 編てつ箇所
	立 証 趣 旨 (公 訴 事 実 の 別)		内 容		内 容				
21	捜査関係事項照会書に対する回答について 経済産業省貿易経済協力局貿易管理部安全保障 〔貿易管理課長 〇〇〇〇〇〇〕 30.8.10 甲20の回答 ()	A B C D							
22	捜照(謄) 〔(員) 〇〇〇〇〇〇〕 30.8.3 被告会社における輸出の包括許可の有無の照会 ()	A B C D							
23	捜査関係事項照会書に対する回答について 経済産業省貿易経済協力局貿易管理部安全保障 〔貿易管理課長 〇〇〇〇〇〇〕 30.8.10 甲22の回答 ()	A B C D							
24	複写報告書（本件輸出関係書類） 〔(員) 〇〇〇〇〇〇〕 30.2.16 本件輸出関係書類の記載内容等 ()	A B C D							
25	聴取結果報告書（三井倉庫株式会社） 〔(員) 〇〇〇〇〇〇〕 30.3.30 本件輸出貨物の船積み状況等 ()	A B C D							

（
被
告
人
複
数
用
）

（被告人 A 大川原化工機(株) C 相 嶋 静 夫 ）
B 大 川 原 正 明 D 島 田 順 司 ）

請求者等 検 察 官			令和2年特（わ）第858号				
証 拠 等 関 係 カ ー ド （ 甲 ） （No. 6 ）							
（このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。）							
番号	標 目 [供述者・作成年月日、住居・尋問時間等]	請求 期 日 関 係 被 告 人	意 見 期 日 関 係 被 告 人 内 容		結 果 期 日 関 係 被 告 人 内 容 取 調 順 序		備 考 編てつ箇所
26	既遂時期等特定報告書 〔（員） 30.4.5〕 本件既遂時期及び場所の特定等 ()	A B C D					
27	員 〔 1.9.25〕 本件輸出貨物の輸出通関状況等 ()	A B C D					
28	検 〔 2.3.24〕 噴霧乾燥器が新たに輸出規制の対象に追加される際に、被告会社とヒアリング、メール等でやりとりした状況等 ()	A B C D					
29	検 〔 2.3.25〕 噴霧乾燥器が新たに輸出規制の対象に追加される際に、被告会社とヒアリング、メール等でやりとりした状況及び改正法施行後に被告会社に判定基準の調査を行った状況等 ()	A B C D					
30	検 〔 2.3.25〕 噴霧乾燥器の輸出規制に関わる法令の改正に関与し、被告会社からパブリックコメントの意見を受けたこと等 ()	A B C D					

（
被
告
人
複
数
用
）

（被告人 A 大川原化工機 備 C 相 嶋 静 夫 ）
B 大 川 原 正 明 D 島 田 順 司

証拠等関係カード（甲）（No. 7）

（このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。）

番号	標 目 [供述者・作成年月日、住居・尋問時間等]	請求		意 見		結 果			備 考 編てつ箇所
		期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	取 調 順 序	
31	検 [] 2.3.30 大川原正明の依頼で、噴霧乾燥器輸出規制に関する法令改正案へパブリックコメントを提出した経緯等 ()		A B C D						
32	検 [] 2.3.24 被告会社製噴霧乾燥器が規制条件に該当するか不安に思ったが、相嶋静夫が、該当しない旨発言したこと等 ()		A B C D						
33	検 [] 2.3.25 輸出規制の該非判定において、相嶋静夫から非該当と説明を受けたので、常に非該当として決裁していたこと等 ()		A B C D						
34	検 [] 2.3.25 輸出規制の該非判定において、被告会社の方針に従い、すべて非該当として判定していたこと等 ()		A B C D						
35	報 [(検)] 2.3.25 甲34の訂正 ()		A B C D						

（被告人複数用）

(被告人 A 大川原化工機(株) C 相嶋 静 夫)
B 大川原 正 明 D 島 田 順 司)

証 拠 等 関 係 カ ー ド (甲) (No. 8)

(このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。)

[illegible]

(被告人複数用)

(被告人 A 大川原 化工機(株) C 相 嶋 静 夫)
B 大 川 原 正 明 D 島 田 順 司

請求者等 検 察 官				令和2年特（わ）第858号				
証 拠 等 関 係 カ ー ド （乙）（No. 1）								
（このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。）								
番号	標 目 〔供述者・作成年月日、住居・尋問時間等〕	請求 期 関係 日 被告人	意 見 期 関係 日 被告人		結 果 期 関係 日 被告人		取 調 順 序	備 考
	立 証 趣 旨 (公 訴 事 実 の 別)		内 容		内 容			編てつ箇所
1	員 〔(被)大川原 正明 2.3.11〕 身上経歴等 ()	B						
2	員（本文が「私は」で書き出しのもの） 〔(被)大川原 正明 31.2.19〕 被告会社における決裁・報告の流れ等 ()	A B C D						
3	員（本文が「私が」で書き出しのもの） 〔(被)大川原 正明 31.2.19〕 中国の合併会社（上海大川原乾燥設備有限公司）の運営状況等 ()	A B C D						
4	員 〔(被)大川原 正明 1.11.25〕 被告会社における相嶋の役割等 ()	A B C D						
5	員 〔(被)大川原 正明 1.10.21〕 平成25年9月頃、相嶋、島田と噴霧乾燥器の輸出規制について話し合ったこと等 ()	A B C D						

（被告人
複
数
用
）

（被告人 A 大川原 化工 機 械 C 相 嶋 静 夫
B 大 川 原 正 明 D 島 田 順 司）

証拠等関係カード（乙）（No. 2）

（このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。）

番号	標 目 [供述者・作成年月日、住居・尋問時間等]	請求		意 見		結 果			備 考 編てつ箇所
		期 日	関係被告人	期 日	関係被告人	期 日	関係被告人	取調順序	
6	員 〔（被）大川原 正明 1.10.28〕 解釈によっては少なくとも被告会社の定型機等が規制対象に該当する可能性があると思ったこと等 ()		A B C D						
7	員 〔（被）大川原 正明 1.11.19〕 島田を通じて経済産業省に規制案文の変更を要望したが、反映されなかったこと等 ()		A B C D						
8	員 〔（被）大川原 正明 1.12.10〕 経済産業省に、規制対象に該当するか否か確認することなく、無許可で輸出していたこと等 ()		A B C D						
9	検 〔（被）大川原 正明 2.3.12〕 弁解内容等 ()		A B C D						
10	員 〔（被）相嶋 静夫 2.3.11〕 身上経歴等 ()		C						

（被告人複数用）

(被告人 A 大川原 化工 機 備 C 相 嶋 静 夫)
B 大 川 原 正 明 D 島 田 順 司)

請求者等 検 察 官				令和2年特（わ）第858号			
証 拠 等 関 係 カ ー ド （乙）（No. 3）							
（このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。）							
番号	標 目 〔供述者・作成年月日、住居・尋問時間等〕	請求 期 関 係 係 被 告 人	意 見 期 関 係 係 被 告 人		結 果 期 関 係 係 被 告 人		備 考
	立 証 趣 旨 (公 訴 事 実 の 別)	日	日	内 容	日	内 容	取 調 順 序
11	員 〔(被)相嶋 静夫 31.1.25〕 被告会社における経歴等 ()	A B C D					
12	員 〔(被)相嶋 静夫 31.1.25〕 経済産業省やシステックとの噴霧乾燥器 の輸出規制制定に向けたやり取りの状況 等 ()	A B C D					
13	員 〔(被)相嶋 静夫 1.9.11〕 平成25年9月頃、大川原、島田と輸出規 制の対応について話し合いした状況等 ()	A B C D					
14	員 〔(被)相嶋 静夫 1.11.28〕 噴霧乾燥器の受注の流れ等 ()	A B C D					
15	員 〔(被)相嶋 静夫 2.1.23〕 RL-5型の輸出は、経済産業省に輸出許可 申請を行うべき案件だったこと等 ()	A B C D					

（
被
告
人
複
数
用
）

(被告人 A 大川原 化工 機 械 C 相 嶋 静 夫)
B 大 川 原 正 明 D 島 田 順 司)

証拠等関係カード(乙) (No. 4)

(このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。)

番号	標 目 〔供述者・作成年月日、住居・尋問時間等〕 立 証 趣 旨 (公 訴 事 実 の 別)	請 求		意 見		結 果				備 考 編てつ箇所
		期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	取 調 順 序		
16	員 〔(員)島田 順司 2.3.11〕 身上経歴等 ()		D							
17	員 〔(員)島田 順司 1.6.25〕 中国に合併会社を設立した経緯等 ()		A B C D							
18	員 〔(員)島田 順司 31.1.29〕 平成24年1月24日に噴霧乾燥器の輸出規制について、経済産業省等と打合せをしたこと等 ()		A B C D							
19	員 〔(員)島田 順司 31.2.15〕 平成24年2月23日に噴霧乾燥器の輸出規制について、経済産業省やシステックと打合せをしたこと等 ()		A B C D							
20	訂正報告書(平成31年2月15日付け島田順司供述調書) 〔(員)  31.2.18〕 乙19の訂正 ()		A B C D							

(被
告
人
複
数
用
)(被告人 A 大川原化工機械 C 相 嶋 静 夫)
B 大 川 原 正 明 D 島 田 順 司)

証拠等関係カード（乙）（No. 5）

（このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。）

番号	標 目 〔供述者・作成年月日、住居・尋問時間等〕 立 証 趣 旨 (公 訴 事 実 の 別)	請 求		意 見		結 果			備 考 編てつ箇所
		期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	取 調 順 序	
21 員	〔 (員) 島田 順司 31.2.22 平成24年3月から4月にかけて行った経済産業省とのメールのやり取りの内容等 () 〕		A B C D						
22 員	〔 (員) 島田 順司 31.3.25 平成24年4月頃の被告会社の経営方針及び営業会議等 () 〕		A B C D						
23 員	〔 (員) 島田 順司 31.3.6 平成24年12月、輸出規制に係る政省令案に関して経済産業省とメールのやりとりをした状況等 () 〕		A B C D						
24 員	〔 (員) 島田 順司 31.4.3 平成25年当時の被告会社の経営方針、同年7月システックから政省令改正案に関するメールを受信した状況等 () 〕		A B C D						
25 員	〔 (員) 島田 順司 31.4.19 平成25年8月から9月にかけて、経済産業省に政省令改正案に対する要望、意見を提出したが認められず、広範な規制となったこと等 () 〕		A B C D						

(被
告
人
複
数
用
)(被告人 A 大川原化工機(株) C 相 嶋 静 夫)
B 大川原 正 明 D 島 田 順 司)

請求者等 検 察 官				令和2年特（わ）第858号			
証 拠 等 関 係 カ ー ド （乙）（No. 6）							
（このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。）							
番号	請求		意 見		結 果		備 考
	期	関係被告人	期	関係被告人	期	関係被告人	
	目 〔供述者・作成年月日、住居・尋問時間等〕		内 容		内 容		編てつ箇所
立 証 趣 旨 (公 訴 事 実 の 別)		日	日		日		
26	訂正報告書（平成31年4月19日付け島田順司供述調書）						
	〔（員） 〕 31. 4. 22	A					
	乙25の訂正	B					
		C					
		D					
27	員						
	〔（員）島田 順司〕 1. 8. 23	A					
	平成25年9月下旬頃、大川原正明、相嶋静夫と輸出規制について話した際に、大川原が非該当とする見解を示し、同年10月の業務運営会議で、非該当とする方針が決定されたこと等	B					
		C					
		D					
28	員						
	〔（員）島田 順司〕 31. 4. 25	A					
	被告会社の役員・組織及び被告会社の方針として、噴霧乾燥器を非該当と決定した経緯等	B					
		C					
		D					
29	員						
	〔（員）島田 順司〕 31. 3. 13	A					
	他社における不正輸出事件の認識及び被告会社の輸出管理体制等	B					
		C					
		D					
（ 被 告 人 複 数 用 ）	30	訂正報告書（平成31年3月13日付け島田順司供述調書）					
		〔（員） 〕 1. 6. 28	A				
		乙29の訂正	B				
			C				
		D					

（被告人 A 大川原 化工 機 械 C 相 嶋 静 夫 ）
B 大 川 原 正 明 D 島 田 順 司

証拠等関係カード(乙) (No. 7)

(このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。)

番号	標 目 〔供述者・作成年月日、住居・尋問時間等〕 立 証 趣 旨 (公 訴 事 実 の 別)	請 求		意 見		結 果			備 考 編てつ箇所
		期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	期 日	関 係 被 告 人	取 調 順 序	
31	員 〔(員)島田 順司 1.10.24〕 本件輸出貨物(RL-5)を輸出した経緯等 ()		A B C D						
32	員 〔(員)島田 順司 1.9.19〕 相嶋静夫から、輸出規制範囲について経済産業省に確認するよう指示を受けたことはないこと等 ()		A B C D						
33	履歴事項全部証明書 〔東京法務局登記官 2.3.17〕 被告会社の登記内容 ()		A B C D						
34	戸(戸附添付) 〔 2.3.18〕 身上関係 ()		B						
35	戸(戸附添付) 〔静岡県 長 2.3.16〕 身上関係 ()		C						

(被告人複数用)

(被告人 A 大川原化工機(株) C 相嶋 静 夫)
B 大川原 正 明 D 島田 順 司)

証 拠 等 関 係 カ ー ド (乙) (No. 8)

(このカードは、公判期日、公判前整理手続期日又は期日間整理手続期日においてされた事項については、各期日の調書と一体となるものである。)

[illegible]

（被告人複数用）

(被告人 A 大川原 化工機(株) C 相 嶋 静 夫)
B 大 川 原 正 明 D 島 田 順 司

令和2年5月20日

証拠の任意開示について

弁護士 小林貴樹 殿

東京地方検察庁

検察官検事長 好行

被告人 大川原化工機，大川原正明，相嶋静夫，島田順司 に対する 外国為替及び外国貿易法違反 被告事件について下記の証拠を任意に開示する。

記

別紙のとおり

以上

供述調書及び証拠書類一覧表

番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
1	供述調書（甲）	平成31年2月25日	■■■■■
2	供述調書（甲）	平成31年3月28日	■■■■■
3	供述調書（甲）	平成31年4月3日	■■■■■
4	訂正報告書（平成31年4月3日付け■■■■■ 供述調書）	平成31年4月3日	■■■■■
5	供述調書（甲）	令和元年5月14日	■■■■■
6	供述調書（甲）	令和元年8月7日	■■■■■
7	取調べ状況報告書	平成31年2月25日	■■■■■
8	取調べ状況報告書	平成31年3月28日	■■■■■
9	取調べ状況報告書	平成31年4月3日	■■■■■
10	取調べ状況報告書	令和元年5月14日	■■■■■
11	取調べ状況報告書	令和元年8月7日	■■■■■
12	供述調書（甲）	令和元年6月26日	■■■■■
13	■■■■■報告書（令和元年6月26日付け■■■■■ 供述調書）	令和元年7月1日	■■■■■
14	取調べ状況報告書	令和元年6月26日	■■■■■
15	供述調書（甲）	令和元年6月28日	■■■■■
16	供述調書（甲）	令和元年9月25日	■■■■■
17	供述調書（甲）	令和元年12月3日	■■■■■
18	供述調書（甲）	令和元年12月13日	■■■■■
19	取調べ状況報告書	令和元年6月28日	■■■■■
20	取調べ状況報告書	令和元年9月25日	■■■■■

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
21	取調べ状況報告書	令和元年12月3日	■■■■■
22	取調べ状況報告書	令和元年12月13日	■■■■■
23	供述調書（甲）	平成31年3月7日	■■■■■
24	供述調書（甲）	令和元年5月10日	■■■■■
25	供述調書（甲）	令和元年6月6日	■■■■■
26	取調べ状況報告書	平成31年3月7日	■■■■■
27	取調べ状況報告書	令和元年5月10日	■■■■■
28	取調べ状況報告書	令和元年6月6日	■■■■■
29	供述調書（甲）	平成31年3月12日	■■■■■
30	供述調書（甲）	平成31年4月4日	■■■■■
31	供述調書（甲）	令和元年5月10日	■■■■■
32	供述調書（甲）	令和元年5月17日	■■■■■
33	取調べ状況報告書	平成31年3月12日	■■■■■
34	取調べ状況報告書	平成31年4月4日	■■■■■
35	取調べ状況報告書	令和元年5月10日	■■■■■
36	取調べ状況報告書	令和元年5月17日	■■■■■
37	供述調書（甲）	平成30年12月11日	■■■■■
38	訂正報告書（平成30年12月11日作成供述調書、被疑者■■■■■）	平成30年12月12日	■■■■■
39	供述調書（甲）	平成30年12月20日	■■■■■
40	供述調書（甲）	平成31年1月16日	■■■■■

供述調書及び証拠書類一覧表

番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
41	供述調書（甲）	平成31年2月28日	■■■■■
42	取調べ状況報告書	平成30年12月11日	■■■■■
43	取調べ状況報告書	平成30年12月20日	■■■■■
44	取調べ状況報告書	平成31年1月16日	■■■■■
45	取調べ状況報告書	平成31年2月28日	■■■■■
46	供述調書（甲）	平成31年3月19日	■■■■■
47	供述調書（甲）	平成31年3月19日	■■■■■
48	供述調書（甲）	令和元年5月16日	■■■■■
49	取調べ状況報告書	平成31年3月19日	■■■■■
50	取調べ状況報告書	令和元年5月16日	■■■■■
51	供述調書（甲）	平成31年1月8日	■■■■■
52	供述調書（甲）	平成31年1月8日	■■■■■
53	供述調書（甲）	平成31年1月28日	■■■■■
54	供述調書（甲）	平成31年1月28日	■■■■■
55	供述調書（甲）	令和元年12月23日	■■■■■
56	供述調書（甲）	令和元年12月26日	■■■■■
57	捜査報告書（供述調書の訂正について）	令和元年12月24日	■■■■■
58	供述調書（甲）	令和元年12月23日	■■■■■
59	取調べ状況報告書	平成31年1月8日	■■■■■
60	取調べ状況報告書	平成31年1月28日	■■■■■

供述調書及び証拠書類一覧表

番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
61	取調べ状況報告書	令和元年12月23日	■■■■■
62	取調べ状況報告書	令和元年12月26日	■■■■■
63	供述調書（甲）	平成30年12月11日	■■■■■
64	取調べ状況報告書	平成30年12月12日	■■■■■
65	供述調書（甲）	平成30年12月13日	■■■■■
66	取調べ状況報告書	平成30年12月14日	■■■■■
67	供述調書（甲）	平成30年12月18日	■■■■■
68	供述調書（甲）	平成30年12月18日	■■■■■
69	取調べ状況報告書	平成30年12月18日	■■■■■
70	供述調書（甲）	平成31年1月9日	■■■■■
71	供述調書（甲）	令和元年7月19日	■■■■■
72	取調べ状況報告書	平成31年1月9日	■■■■■
73	取調べ状況報告書	令和元年7月19日	■■■■■
74	供述調書（甲）	平成31年2月19日	■■■■■
75	供述調書（甲）	平成31年2月19日	■■■■■
76	取調べ状況報告書	平成31年2月19日	■■■■■
77	供述調書（甲）	平成31年3月8日	■■■■■
78	取調べ状況報告書	平成31年3月8日	■■■■■
79	供述調書（甲）	平成31年3月12日	■■■■■
80	供述調書（甲）	平成31年3月12日	■■■■■

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
81	取調べ状況報告書	平成 31 年 3 月 12 日	████████
82	供述調書（甲）	令和 2 年 2 月 4 日	████████
83	取調べ状況報告書	令和 2 年 2 月 4 日	████████
84	供述調書（甲）	令和 元年 12 月 23 日	████████
85	取調べ状況報告書	令和 元年 12 月 23 日	████████
86	供述調書（甲）	令和 元年 12 月 25 日	████████
87	取調べ状況報告書	令和 元年 12 月 25 日	████████
88	供述調書（甲）	令和 2 年 1 月 23 日	████████
89	取調べ状況報告書	令和 2 年 1 月 23 日	████████
90	供述調書（乙）	令和 元年 12 月 26 日	████████
91	供述調書（乙）	令和 元年 7 月 30 日	████████
92	供述調書（乙）	令和 元年 7 月 30 日	████████
93	供述調書（乙）	令和 元年 8 月 9 日	████████
94	訂正報告書（令和元年8月9日付████████ 供述調書）	令和 元年 11 月 1 日	████████
95	資料入手結果報告書（CISTEC 噴霧乾燥器 の規制に関する資料）	平成 31 年 1 月 24 日	████████
96	捜査関係事項照会書（謄本）	平成 31 年 3 月 4 日	外事第一課長
97	同回答書	平成 31 年 3 月 6 日	経済産業省安全保障貿易管理課長
98	捜査関係事項照会書（謄本）	令和 元年 6 月 17 日	外事第一課長
99	同回答書	令和 元年 7 月 18 日	経済産業大臣
100	供述調書（乙）	令和 元年 11 月 12 日	████████

供述調書及び証拠書類一覧表

番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
101	捜査関係事項照会書（謄本）	令和元年11月7日	外事第一課長
102	同回答書	令和元年11月8日	経済産業省安全保障貿易管理課長
103	供述調書（乙）	令和元年6月14日	██████████
104	捜査報告書（オーストラリア・グループの概要）	平成30年2月9日	██████████
105	出力印字及び翻訳結果報告書（AGの規制内容）	平成30年1月23日	██████████
106	出力印字及び翻訳結果報告書（AGにおける用語の定義）	平成30年2月6日	██████████
107	出力印字結果報告書（経済産業省リスト改正説明資料）	平成30年6月21日	██████████
108	分析結果報告書（安全保障貿易管理関連貨物・技術リスト及び関係法令集）	平成29年12月26日	██████████
109	複写報告書（安全保障貿易管理関連貨物・技術リスト及び関係法令集「改正第22版」）	平成30年3月20日	██████████
110	捜査報告書（ガイダンス・適用法令の解釈）	平成29年12月22日	██████████
111	資料入手結果報告書（輸出管理品目ガイダンス）	平成30年2月1日	██████████
112	複写報告書（殺菌についての記述）	平成30年1月11日	██████████
113	供述調書（乙）	平成30年3月16日	██████████
114	複写報告書（基本設計図書等の一部）	平成30年5月1日	██████████
115	複写報告書（納入仕様書等の一部）	平成30年7月23日	██████████
116	聴取結果報告書（██████████株式会社）	平成29年11月28日	██████████
117	資料入手結果報告書（「スプレードライヤー「CRL-5」使用による固形分の粒子径測定結果」）	平成29年12月19日	██████████
118	聴取結果報告書（██████████株式会社）	平成31年3月27日	██████████
119	電話聴取結果報告書（株式会社大川原粉体技術 ██████████）	令和元年7月12日	██████████
120	捜査報告書（本件貨物と同型器を保有する会社の発見について）	平成30年6月1日	██████████

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
121	出力印字結果報告書（「スーパーサーモクロン」の製品概要等）	平成30年7月17日	■■■■■
122	訂正報告書（スーパーサーモクロンの製品概要について）	令和元年6月12日	■■■■■
123	聴取結果報告書（■■■■■株式会社 ■■■■■）	平成30年3月14日	■■■■■
124	聴取結果報告書（■■■■■株式会社 装置内部の温度比較）	平成30年9月3日	■■■■■
125	温度測定結果報告書（大川原化工機製「RL-5」型）	平成29年12月28日	■■■■■
126	捜査関係事項照会書（謄本）	平成30年5月15日	外事第一課長
127	同回答書	平成30年5月21日	千葉大学 ■■■■■
128	捜査関係事項照会書（謄本）	平成29年11月21日	外事第一課長
129	同回答書	平成29年11月22日	千葉大学 ■■■■■
130	捜査関係事項照会書（謄本）	平成30年1月9日	外事第一課長
131	同回答書	平成30年2月19日	国立大学法人 岐阜大学
132	聴取結果報告書（東京農業大学）	平成31年3月28日	■■■■■
133	捜査関係事項照会書（謄本）	平成30年9月26日	外事第一課長
134	同回答書	平成31年3月26日	■■■■■業大学 生物産業学部 ■■■■■
135	資料入手結果報告書（乾熱による大腸菌の死滅時間）	平成30年5月8日	■■■■■
136	資料入手結果報告書（乾熱によるペスト菌の死滅時間）	平成30年5月8日	■■■■■
137	供述調書（乙）	平成30年3月16日	■■■■■
138	生物兵器製造工程捜査報告書	平成30年1月10日	■■■■■
139	証拠品複写報告書（本社 押収品目録第22号物件 見積書）	平成30年12月13日	■■■■■
140	複写報告書（本社第136号物件 定型機工番ファイル）	平成31年1月8日	■■■■■

供述調書及び証拠書類一覧表

番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
141	証拠品複写報告書（本社第174号物件 仕様書等）	令和元年10月9日	■■■■■
142	翻訳結果報告書（本社 第174号物件 仕様書等）	令和元年10月17日	■■■■■
143	証拠品複写報告書（押収品目録番号第182号物件 書籍）	平成31年4月24日	■■■■■
144	証拠品複写報告書（本社 第187号物件 工番2015JS6590NFの図面等）	平成30年12月26日	■■■■■
145	証拠品複写報告書（本社第252号 おから製造工程規程）	平成31年2月13日	■■■■■
146	証拠品複写報告書（本社第257号 計画ファイル（BASF RL-5））	平成31年4月17日	■■■■■
147	証拠品複写報告書（本社第268号物件 仕様書等）	平成31年1月28日	■■■■■
148	証拠品複写報告書（本社 第268号物件 工事決定通知書等）	平成31年3月8日	■■■■■
149	証拠品複写報告書（本社第363号物件 営業会議関係）	平成31年1月25日	■■■■■
150	証拠品複写報告書（本社 押収品目録第363 営業会議関係）	平成31年2月7日	■■■■■
151	証拠品複写報告書（本社第403号物件 RL-5輸出関係書類）	平成30年12月13日	■■■■■
152	証拠品複写報告書（本社第411号物件 生物兵器製造関連資機材）	平成31年2月13日	■■■■■
153	証拠品複写報告書（本社第412号 経営企画機能）	平成31年2月12日	■■■■■
154	証拠品複写報告書（本社第509号 会議資料）	平成31年1月30日	■■■■■
155	証拠品複写報告書（本社第542号 受注・売上報告書）	平成31年2月15日	■■■■■
156	複写報告書（本社第724号物件 経営計画資料等）	平成31年1月9日	■■■■■
157	複写報告書（本社第728号物件 社内連絡文書等）	平成31年1月9日	■■■■■
158	証拠品複写報告書（本社第748号物件 業務月報）	平成31年1月21日	■■■■■
159	複写報告書（本社第781号物件 経営計画書類等）	平成31年1月9日	■■■■■
160	複写報告書（本社第789号物件 輸出規制関係資料）	平成31年1月9日	■■■■■

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
161	複写報告書（本社第796号物件 業務月報等）	平成31年1月9日	■
162	証拠品複写報告書（本社第947号 社内資料）	平成31年2月12日	■
163	証拠品複写報告書（本社 第1010号物件 ノート）	令和元年12月23日	■
164	証拠品複写報告書（本社 第1145号物件 試験報告書）	令和元年12月23日	■
165	証拠品複写報告書（本社第1165号物件 テクニカルファイル等）	平成30年12月26日	■
166	証拠品複写報告書（粉体技術研究所 第41号物件 定款等）	令和元年10月24日	■
167	証拠品複写報告書（粉体技術研究所第139号 製品カタログ）	平成30年12月19日	■
168	証拠品複写報告書（粉体技術研究所 第144号物件 発令書）	平成30年12月12日	■
169	証拠品複写報告書（大阪営業所第36号 輸出管理関係書籍）	平成31年2月5日	■
170	証拠品複写報告書（大川原正明方第7号 執務関係資料）	平成31年2月15日	■
171	証拠品複写報告書（島田順司方 第14号物件 島田順司旅券）	平成31年3月5日	■
172	証拠品複写報告書（平成31年3月19日 任意提出 書類）	平成31年3月25日	■
173	証拠品複写報告書（「噴霧乾燥器についての質問」 ■ 任提）	平成30年1月26日	■
174	証拠品複写報告書（「噴霧乾燥機資料」 ■ 任提）	平成30年1月26日	■
175	証拠品複写報告書（CISTEC ■ 任意提出・名刺）	平成31年2月5日	■
176	証拠品複写報告書（令和元年8月7日 ■ 任提）	令和元年8月13日	■
177	証拠品複写報告書（令和元年8月8日大川原正明任提）	令和元年8月9日	■
178	出力印字結果報告書（本社第424号 メール）	平成30年12月17日	■
179	出力印字結果報告書（本社 第424号 復元メール）	平成31年2月15日	■
180	出力印字結果報告書（本社第426号 ■ ）	令和元年12月6日	■

供述調書及び証拠書類一覧表

番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
181	出力印字結果報告書（本社第431号 会議録）	令和元年12月24日	
182	出力印字結果報告書（本社第432号 メール）	平成30年12月13日	
183	出力印字結果報告書（本社第432号 ）	令和元年12月6日	
184	出力印字結果報告書（本社第433号 着手会議議事録等）	令和元年10月10日	
185	出力印字結果報告書（本社第443号物件輸出規制に関する社内連絡書等）	平成30年12月17日	
186	出力印字結果報告書（本社 第453号 パワーポイント資料）	平成31年2月6日	
187	出力印字結果報告書（本社第514号 RL-5仕様書等）	平成31年1月21日	
188	出力印字結果報告書（本社第514号 RL-5試運転報告書）	平成31年1月21日	
189	出力印字結果報告書（本社第523号 工事変更通知書等）	令和元年11月25日	
190	出力印字結果報告書（本社第525号 設備点検関係文書）	平成31年1月8日	
191	出力印字結果報告書（本社第525号 CISTEC質問事項等）	平成30年12月17日	
192	出力印字結果報告書（本社第640号 メール）	平成30年12月13日	
193	出力印字結果報告書（本社第640号 輸出規制関係書類）	平成30年12月17日	
194	出力印字結果報告書（本社第893号 メール）	平成30年12月13日	
195	出力印字結果報告書（本社第893号 輸出規制に関する「打合覚書」等）	平成30年12月19日	
196	出力印字結果報告書（本社 第893号物件メール）	令和元年5月24日	
197	翻訳結果報告書（本社 第893号物件 メール）	令和元年5月31日	
198	出力印字結果報告書（本社第893号 出展報告書等）	令和元年7月3日	
199	出力印字結果報告書（本社第1213号 メール）	平成30年12月17日	
200	出力印字結果報告書（粉体技術研究所第47号 受注売上）	令和元年9月26日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
201	出力印字結果報告書（粉体技術研究所第190号物件 社員名簿等）	平成31年4月15日	〃
202	出力印字結果報告書（〃営業所第207号輸出関連の法令等）	平成31年3月6日	〃
203	出力印字結果報告書（パブリックコメント関係資料）	令和元年8月28日	〃
204	資料入手報告書（会社案内等）	平成29年6月26日	〃
205	出力印字結果報告書（大川原化工機株式会社ホームページ）	平成29年9月21日	〃
206	所在確認結果報告書（大川原化工機株式会社本社及び開発棟）	平成29年12月25日	〃
207	捜査関係事項照会書（謄本）	令和2年2月3日	〃
208	同回答書	令和2年2月5日	〃
209	捜査関係事項照会書（謄本）	平成29年5月1日	〃
210	同回答書	平成29年5月1日	〃
211	捜査関係事項照会書（謄本）	平成29年11月15日	〃
212	同回答書	平成29年11月21日	〃
213	所在確認報告書（大川原化工機株式会社粉体技術研究所）	平成29年11月27日	〃
214	関連会社判明捜査報告書（株式会社 大川原粉体技術）	平成29年12月8日	〃
215	捜査関係事項照会書（謄本）	平成30年9月3日	〃
216	同回答書	平成30年9月10日	〃
217	捜査関係事項照会書（謄本）	平成29年11月24日	〃
218	搜索差押調書（甲）（謄本）	平成30年12月12日	〃
219	搜索差押調書（甲）（謄本）	平成30年12月11日	〃
220	搜索差押調書（甲）（謄本）	平成30年12月10日	〃

番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
221	搜索差押調書（甲）（謄本）	平成30年11月17日	[Redacted]
222	搜索差押調書（甲）（謄本）	平成30年12月27日	
223	搜索差押調書（甲）（謄本）	令和元年5月28日	
224	搜索差押調書（甲）（謄本）	平成30年10月5日	
225	搜索差押調書（甲）（謄本）	平成30年11月14日	
226	搜索差押調書（甲）（謄本）	平成30年10月17日	
227	搜索差押調書（甲）（謄本）	平成30年12月10日	
228	搜索差押調書（甲）（謄本）	平成30年12月11日	
229	搜索差押調書（甲）（謄本）	平成30年12月26日	
230	搜索差押調書（甲）（謄本）	平成30年10月4日	
231	差押調書（甲）（謄本）	平成30年10月5日	
232	差押調書（甲）（謄本）	平成30年10月5日	
233	搜索差押調書（甲）（謄本）	令和2年3月16日	
234	搜索差押調書（甲）（謄本）	令和2年3月16日	
235	搜索差押調書（甲）（謄本）	令和2年3月11日	
236	搜索差押調書（甲）（謄本）	令和2年3月13日	
237	搜索差押調書（甲）（謄本）	令和2年3月12日	
238	任意提出書（謄本）	平成30年1月25日	
239	領置調書（甲）（謄本）	平成30年1月25日	
240	任意提出書（謄本）	平成30年1月25日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
241	領置調書（甲）（謄本）	平成30年1月25日	
242	任意提出書（謄本）	平成30年7月19日	
243	領置調書（甲）（謄本）	平成30年7月19日	
244	任意提出書（謄本）	平成30年7月19日	
245	領置調書（甲）（謄本）	平成30年7月19日	
246	任意提出書（謄本）	平成30年10月3日	
247	領置調書（甲）（謄本）	平成30年10月3日	
248	任意提出書（謄本）	平成30年10月3日	
249	領置調書（甲）（謄本）	平成30年10月3日	
250	任意提出書（謄本）	平成30年10月3日	
251	領置調書（甲）（謄本）	平成30年10月3日	
252	任意提出書（謄本）	平成30年10月19日	
253	領置調書（甲）（謄本）	平成30年10月19日	
254	任意提出書（謄本）	平成30年10月26日	
255	領置調書（甲）（謄本）	平成30年10月26日	
256	任意提出書（謄本）	平成30年12月20日	
257	領置調書（甲）（謄本）	平成30年12月20日	
258	任意提出書（謄本）	平成31年1月24日	
259	領置調書（甲）（謄本）	平成31年1月24日	
260	任意提出書（謄本）	平成31年1月24日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
261	領置調書（甲）（謄本）	平成31年1月24日	
262	任意提出書（謄本）	平成31年2月25日	
263	領置調書（甲）（謄本）	平成31年2月25日	
264	任意提出書（謄本）	平成31年3月13日	
265	領置調書（甲）（謄本）	平成31年3月13日	
266	任意提出書（謄本）	平成31年3月12日	
267	領置調書（甲）（謄本）	平成31年3月12日	
268	任意提出書（謄本）	平成31年3月13日	
269	領置調書（甲）（謄本）	平成31年3月13日	
270	任意提出書（謄本）	平成31年3月19日	
271	領置調書（甲）（謄本）	平成31年3月19日	
272	任意提出書（謄本）	令和元年5月15日	
273	領置調書（甲）（謄本）	令和元年5月15日	
274	任意提出書（謄本）	令和元年5月15日	
275	領置調書（甲）（謄本）	令和元年5月15日	
276	任意提出書（謄本）	令和元年5月20日	
277	領置調書（甲）（謄本）	令和元年5月20日	
278	任意提出書（謄本）	令和元年8月7日	
279	領置調書（甲）（謄本）	令和元年8月7日	
280	任意提出書（謄本）	令和元年9月3日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
281	領置調書（甲）（謄本）	令和元年9月3日	
282	任意提出書（謄本）	令和元年9月11日	
283	領置調書（甲）（謄本）	令和元年9月11日	
284	任意提出書（謄本）	令和元年10月7日	
285	領置調書（甲）（謄本）	令和元年10月7日	
286	任意提出書（謄本）	令和元年12月3日	
287	領置調書（甲）（謄本）	令和元年12月3日	
288	任意提出書（謄本）	令和2年3月11日	
289	領置調書（甲）（謄本）	令和2年3月11日	
290	任意提出書（謄本）	令和2年3月11日	
291	領置調書（甲）（謄本）	令和2年3月11日	
292	任意提出書（謄本）	令和2年3月11日	
293	領置調書（甲）（謄本）	令和2年3月11日	
294	任意提出書（謄本）	令和2年3月11日	
295	領置調書（甲）（謄本）	令和2年3月11日	
296	任意提出書（謄本）	令和2年3月11日	
297	領置調書（甲）（謄本）	令和2年3月11日	
298	証拠品複写報告書（本社 第1号物件 報告書類）	令和2年3月15日	
299	証拠品複写報告書（本社第2号物件 メモ類）	令和2年3月15日	
300	証拠品複写報告書（本社第3号物件 報告書類）	令和2年3月15日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
301	証拠品複写報告書（本社第4号物件 会議資料）	令和2年3月13日	〃
302	証拠品複写報告書（本社 第5号物件 ノート）	令和2年3月15日	〃
303	証拠品複写報告書（本社 第7号物件 連絡文書）	令和2年3月15日	〃
304	証拠品複写報告書（本社第8号物件 業務指示書）	令和2年3月15日	〃
305	証拠品複写報告書（本社第9号物件 会議資料）	令和2年3月13日	〃
306	証拠品複写報告書（粉体技術研究所 第6号物件 書類）	令和2年3月15日	〃
307	証拠品複写報告書（大川原正明方 第2号物件 手帳）	令和2年3月15日	〃
308	証拠品複写報告書（大川原正明方 第3号物件 手帳）	令和2年3月15日	〃
309	証拠品複写報告書（大川原正明方 第4号物件 書類）	令和2年3月15日	〃
310	証拠品複写報告書（大川原正明方 第5号物件 書類）	令和2年3月15日	〃
311	証拠品複写報告書（大川原正明方 第6号物件 書類）	令和2年3月15日	〃
312	証拠品複写報告書（島田順司方 第2号物件 ノート）	令和2年3月15日	〃
313	出力印字結果報告書（本社第6号物件 パーソナルコンピューター）	令和2年3月26日	〃
314	音声データ分析結果報告書（2019.6.4高田弁護士. MP3）	令和2年3月27日	〃
315	出力印字結果報告書（本社第10号物件 パーソナルコンピューター）	令和2年3月26日	〃
316	出力印字結果報告書（本社第11号物件 パーソナルコンピューター）	令和2年3月25日	〃
317	翻訳結果報告書（許可申請通知 letter.docx）	令和2年3月26日	〃
318	解析結果報告書（相嶋静夫方第1号物件 パーソナルコンピューター）	令和2年3月25日	〃
319	出力印字結果報告書（本社任提第1号物件 パーソナルコンピューター）	令和2年3月26日	〃
320	出力印字結果報告書（m_ookawara@oc-sd.co.jp メール出力）	令和2年3月24日	〃

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
321	出力印字結果報告書 (s_hatuzawa101@oc-sd.co.jp メール出力)	令和2年3月24日	〇〇〇〇〇〇
322	出力印字結果報告書 (y_fukumoto173@oc-sd.co.jp メール出力)	令和2年3月25日	〇〇〇〇〇〇
323	出力印字結果報告書 (島田順司 メール出力)	令和2年3月20日	〇〇〇〇〇〇
324	出力印字結果報告書 (相嶋静夫 メール出力)	令和2年3月20日	〇〇〇〇〇〇
325	複写報告書 (本社第477号物件 手帳)	平成31年1月8日	〇〇〇〇〇〇
326	複写報告書 (本社第481号物件 貿易関係書類)	平成31年1月8日	〇〇〇〇〇〇
327	複写報告書 (本社第486号物件 ノート)	平成31年1月8日	〇〇〇〇〇〇
328	複写報告書 (本社第672号物件 開発関係書類)	平成31年1月8日	〇〇〇〇〇〇
329	複写報告書 (本社第722号物件 開発関係書類)	平成31年1月8日	〇〇〇〇〇〇
330	証拠品複写報告書 (大阪営業所 第191号物件 機器の洗浄方法)	平成30年12月12日	〇〇〇〇〇〇
331	証拠品複写報告書 (大阪営業所 第193号物件 製品カタログ)	平成30年12月12日	〇〇〇〇〇〇
332	証拠品複写報告書 (大阪営業所 第193号物件 バルブカタログ)	平成30年12月12日	〇〇〇〇〇〇
333	証拠品複写報告書 (本社 第321号物件 工番08JS38210Aの図面等)	平成30年12月26日	〇〇〇〇〇〇
334	証拠品複写報告書 (粉体技術研究所第76号取扱説明書)	平成30年12月19日	〇〇〇〇〇〇
335	証拠品複写報告書 (粉体技術研究所第181号物件 試験報告書、第294号物件 営業会議資料)	平成30年12月19日	〇〇〇〇〇〇
336	証拠品複写報告書 (粉体技術研究所第273号物件 論文)	平成30年12月19日	〇〇〇〇〇〇
337	証拠品複写報告書 (〇〇〇〇営業所第118号物件 打合覚書)	平成30年12月19日	〇〇〇〇〇〇
338	証拠品複写報告書 (平成31年1月24日 〇〇〇〇任提 経済産業省出張分)	平成31年2月7日	〇〇〇〇〇〇
339	証拠品複写報告書 (本社 押収品目録第488号物件 輸出管理関係書籍)	平成31年2月5日	〇〇〇〇〇〇
340	証拠品複写報告書 (粉体技術研究所第66号ノート)	平成30年12月19日	〇〇〇〇〇〇

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
341	証拠品複写報告書（粉体技術研究所第251号 カタログ等）	平成31年2月1日	■
342	証拠品複写報告書（粉体技術研究所第147号 実験結果書類等）	平成31年2月1日	■
343	証拠品複写報告書（本社第414号物件 顧客満足度調査等）	平成31年1月25日	■
344	証拠品複写報告書（本社第750号物件 会議録等）	平成31年1月28日	■
345	証拠品複写報告書（本社 押収品目録第925号物件 医薬品対応スプレードライヤ）	平成31年2月13日	■
346	証拠品複写報告書（大川原正明方 第4号物件 手帳）	平成31年2月5日	■
347	証拠品複写報告書（本社第48号物件 社内基準書等）	平成31年2月20日	■
348	複写報告書（2013年10月以降の出荷貨物リスト）	平成31年2月19日	■
349	証拠品複写報告書（本社第403号 船積関係書類）	平成31年2月28日	■
350	証拠品複写報告書（平成31年2月25日 ■ 任提）	平成31年2月25日	■
351	証拠品複写報告書（本社 第454号物件 名刺）	平成31年2月22日	■
352	証拠品複写報告書（■ 任提「輸出管理フロー図」）	平成31年3月1日	■
353	証拠品複写報告書（平成31年3月7日 ■ 任意提出・書類）	平成31年3月8日	■
354	証拠品複写報告書（本社 第361号物件 トラブル報告書2009年4月～）	平成31年3月8日	■
355	証拠品複写報告書（本社 第22号物件 見積書）	平成31年3月8日	■
356	証拠品複写報告書（平成31年3月8日 ■ 任提）	平成31年3月12日	■
357	証拠品複写報告書（平成31年1月24日 ■ 任提）	平成31年3月15日	■
358	証拠品複写報告書（■ 営業所第14号 営業管理規程）	平成31年3月8日	■
359	証拠品複写報告書（■ 営業所第14号 業務フローチャート）	平成31年3月8日	■
360	証拠品複写報告書（本社第48号 職務権限）	平成31年3月8日	■

供述調書及び証拠書類一覧表

番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
361	証拠品複写報告書（本社第888号物件社内資料）	平成31年4月23日	
362	証拠品複写報告書（本社第316号物件製品資料）	平成31年4月23日	
363	証拠品複写報告書（本社第997号物件社内連絡書等）	平成31年4月23日	
364	証拠品複写報告書（本社第378号物件 新開発製品のご紹介）	平成31年3月11日	
365	証拠品複写報告書（本社第535号物件経営計画）	平成31年3月20日	
366	証拠品複写報告書（粉体技術第251号物件 カタログ）	平成31年4月23日	
367	証拠品複写報告書（本社 第412号物件 メール交信文、技術使用契約書、技術供与協議書）	令和元年6月19日	
368	証拠品複写報告書（本社 第722号物件 開発計画書添付書類）	令和元年10月4日	
369	証拠品複写報告書（粉体技術研究所 第45号物件 業務月報等）	令和元年10月24日	
370	証拠品複写報告書（株式会社 任提 第1号物件）	令和元年12月17日	
371	証拠品複写報告書（株式会社 任提 第2号物件）	令和元年12月17日	
372	証拠品複写報告書（株式会社 任提 第3号物件）	令和元年12月17日	
373	証拠品複写報告書（株式会社 任提 第5号物件）	令和元年12月16日	
374	証拠品複写報告書（本社第544号物件 2017年6月度業務月報）	令和2年1月30日	
375	証拠品複写報告書（本社第402号物件 ALEES（工番13JS56370F）案件）	令和元年5月14日	
376	出力印字結果報告書（本社第443号 メール）	平成30年12月14日	
377	出力印字結果報告書（本社第514号 RJノズル検査要領書等）	平成31年1月21日	
378	出力印字結果報告書（本社第1230号 輸出管理文書）	平成30年12月18日	
379	出力印字結果報告書（本社第453号 輸出管理文書）	平成30年12月13日	
380	出力印字結果報告書（本社第518号 申請手続き）	平成31年1月23日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	提出者の氏名
381	出力印字結果報告書(第207号 申請手続きフロー図等)	平成31年2月6日	
382	出力印字結果報告書(本社 第453号 押捺願、マトリクス)	平成31年2月13日	
383	出力印字結果報告書(本社第69号 安全保障貿易管理(制度の紹介)等)	平成31年3月12日	
384	出力印字結果報告書(本社第524号 社内連絡書)	平成31年3月11日	
385	出力印字結果報告書(粉体技術研究所第47号 文書)	令和元年9月19日	
386	出力印字結果報告書(本社第433号 製品技術セミナー資料)	平成31年4月24日	
387	出力印字結果報告書(本社第453号 項目別対比表)	令和元年10月4日	
388	出力印字結果報告書(本社第397号 納入仕様書等)	令和元年11月25日	
389	資料入手結果報告書(兵庫医療大学 乾熱殺菌に関する資料)	平成29年12月18日	
390	資料入手結果報告書(「改訂新版・新・食品殺菌工学」)	平成29年11月14日	
391	捜査報告書(乾熱滅菌の温度と時間の関係)	平成29年11月10日	
392	資料入手結果報告書(「殺菌」に関する記事等)	平成29年10月27日	
393	資料入手結果報告書(医薬用スプレードライヤについての記事)	平成29年10月30日	
394	資料入手結果報告書(スプレードライヤに関する記事)	平成29年11月2日	
395	捜査関係事項照会書(謄本)	平成29年6月29日	
396	同回答書	平成29年7月5日	
397	捜査関係事項照会書(謄本)	平成30年3月16日	
398	同回答書	平成30年3月20日	
399	証拠品複製報告書(株式会社・計測データ)	平成30年7月19日	
400	証拠品複製報告書(本社第75、231、709、820、876、1063号物件)	平成30年11月20日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
401	証拠品複写報告書（本社第215号物件他9件）	平成30年11月20日	
402	証拠品複写報告書（粉体技術研究所第46号物件）	平成30年11月20日	
403	証拠品複写報告書（本社第430、431号物件）	平成30年11月20日	
404	証拠品複写報告書（大阪営業所第207号物件）	平成30年11月20日	
405	証拠品複写報告書（本社第397、400号物件）	平成30年11月20日	
406	証拠品複写報告書（本社第518号物件）	平成30年11月20日	
407	証拠品複写報告書（本社第67、275、814号物件）	平成30年11月20日	
408	証拠品複写報告書（本社第203号物件）	平成30年11月20日	
409	証拠品複写報告書（本社第206号物件他9件）	平成30年11月20日	
410	証拠品複写報告書（本社第158、160、233号物件）	平成30年11月20日	
411	証拠品複写報告書（本社第1228号物件・2台）	平成30年11月20日	
412	証拠品複写報告書（粉体技術研究所第34、94号物件）	平成30年11月20日	
413	証拠品複写報告書（大阪営業所第202号物件）	平成30年11月20日	
414	証拠品複写報告書（本社第1205、1235、1236号物件）	平成30年11月20日	
415	証拠品複写報告書（本社第525、640、1230号物件）	平成30年11月20日	
416	証拠品複写報告書（本社第230号物件他5件）	平成30年11月20日	
417	証拠品複写報告書（本社第1228号物件・3台）	平成30年11月20日	
418	証拠品複写報告書（製造・メンテナンス部第34号物件）	平成30年11月20日	
419	証拠品複写報告書（第34号物件）	平成30年11月20日	
420	証拠品複写報告書（本社第524号物件）	平成30年11月20日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
421	証拠品複写報告書（本社第514号物件）	平成30年11月20日	
422	証拠品複写報告書（本社第239、303、460、996号物件）	平成30年11月20日	
423	証拠品複写報告書（本社第68号物件他6件）	平成30年11月20日	
424	証拠品複写報告書（本社第214、280、469、919、1167号物件）	平成30年11月20日	
425	証拠品複写報告書（本社第453号物件）	平成30年11月20日	
426	証拠品複写報告書（本社第893号物件）	平成30年11月20日	
427	証拠品複写報告書（本社第1213号物件）	平成30年11月20日	
428	証拠品複写報告書（粉体技術研究所第47、73、93号物件）	平成30年11月20日	
429	証拠品複写報告書（粉体技術研究所第84、120、127号物件）	平成30年11月20日	
430	証拠品複写報告書（本社第209号物件）	平成30年11月20日	
431	証拠品複写報告書（本社第515号物件）	平成30年11月20日	
432	証拠品複写報告書（本社第433号物件）	平成30年11月20日	
433	証拠品複写報告書（本社第312、451号物件）	平成30年11月20日	
434	証拠品複写報告書（粉体技術研究所第188、189、190号物件）	平成30年11月20日	
435	証拠品複写報告書（本社第69、432、1118、1190号物件）	平成30年11月20日	
436	証拠品複写報告書（ 事業所第2号物件）	平成30年11月20日	
437	証拠品複写報告書（本社第424号から428号物件）	平成30年11月20日	
438	証拠品複写報告書（本社第706号物件）	平成30年11月20日	
439	証拠品複写報告書（製造・メンテナンス部第7、16号物件）	平成30年11月20日	
440	証拠品複写報告書（本社第276、308、508、828号物件）	平成30年11月20日	

番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
441	証拠品複写結果報告書（本社、6号物件、 パーソナルコンピューター）	令和2年3月16日	〇〇〇〇〇〇
442	証拠品複写結果報告書（本社差押え10号 物件、〇〇〇〇〇〇PC）	令和2年3月23日	〇〇〇〇〇〇
443	証拠品複写結果報告書（本社、差押え11 号物件、〇〇〇〇〇〇PC）	令和2年3月16日	〇〇〇〇〇〇
444	証拠品複写結果報告書（本社、任提1号物 件、社長PC）	令和2年3月16日	〇〇〇〇〇〇
445	証拠品複写結果報告書（粉体技術研究所、 1号物件、相嶋PC）	令和2年3月19日	〇〇〇〇〇〇
446	証拠品複写結果報告書（粉体技術研究所、 2号物件、相嶋PC）	令和2年3月19日	〇〇〇〇〇〇
447	証拠品複写結果報告書（島田取締役方、差 押え3号物件、島田PC）	令和2年3月23日	〇〇〇〇〇〇
448	証拠品複写結果報告書（島田順司方、4号 物件、パーソナルコンピューター）	令和2年3月18日	〇〇〇〇〇〇
449	証拠品複写結果報告書（相嶋静夫方、1号 物件、MacbookPro）	令和2年3月19日	〇〇〇〇〇〇
450	証拠品複写結果報告書（大川原方、差押え 7号物件、大川原自宅PC）	令和2年3月16日	〇〇〇〇〇〇
451	捜査関係事項照会書（謄本）	平成30年2月28日	〇〇〇〇〇〇
452	同回答書	平成30年3月13日	〇〇〇〇〇〇 ニケーションズ
453	供述調書（甲）	平成31年1月21日	〇〇〇〇〇〇
454	供述調書（甲）	平成31年2月4日	〇〇〇〇〇〇
455	供述調書（甲）	平成31年2月4日	〇〇〇〇〇〇
456	供述調書（甲）	平成31年2月8日	〇〇〇〇〇〇
457	供述調書（甲）	平成31年2月8日	〇〇〇〇〇〇
458	供述調書（甲）	平成31年2月13日	〇〇〇〇〇〇
459	供述調書（甲）	平成31年2月13日	〇〇〇〇〇〇
460	取調べ状況報告書	平成30年12月19日	〇〇〇〇〇〇

供述調書及び証拠書類一覧表

番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
461	取調べ状況報告書	令和元年5月15日	〃
462	取調べ状況報告書	平成31年1月24日	〃
463	取調べ状況報告書	平成31年3月19日	〃
464	取調べ状況報告書	令和元年6月18日	〃
465	取調べ状況報告書	平成30年12月11日	〃
466	取調べ状況報告書	平成30年12月12日	〃
467	取調べ状況報告書	平成30年12月20日	〃
468	取調べ状況報告書	平成31年1月16日	〃
469	取調べ状況報告書	平成31年2月20日	〃
470	取調べ状況報告書	平成31年2月28日	〃
471	取調べ状況報告書	平成31年3月8日	〃
472	取調べ状況報告書	平成31年3月12日	〃
473	取調べ状況報告書	平成31年3月15日	〃
474	取調べ状況報告書	平成31年3月29日	〃
475	取調べ状況報告書	平成31年4月11日	〃
476	取調べ状況報告書	平成31年4月19日	〃
477	取調べ状況報告書	平成31年4月26日	〃
478	取調べ状況報告書	令和元年5月7日	〃
479	取調べ状況報告書	令和元年5月9日	〃
480	取調べ状況報告書	令和元年6月6日	〃

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
481	取調べ状況報告書	令和元年7月4日	
482	取調べ状況報告書	令和元年7月12日	
483	取調べ状況報告書	令和元年7月24日	
484	取調べ状況報告書	令和元年9月5日	
485	取調べ状況報告書	令和元年9月25日	
486	取調べ状況報告書	令和元年10月23日	
487	取調べ状況報告書	平成31年1月15日	
488	取調べ状況報告書	平成31年1月16日	
489	取調べ状況報告書	平成31年3月19日	
490	取調べ状況報告書	令和元年6月25日	
491	訂正報告書	令和元年6月25日	
492	取調べ状況報告書	令和元年7月2日	
493	取調べ状況報告書	平成31年1月29日	
494	訂正捜査報告書	平成31年1月31日	
495	取調べ状況報告書	平成31年2月15日	
496	取調べ状況報告書	平成31年2月25日	
497	取調べ状況報告書	平成31年3月28日	
498	取調べ状況報告書	平成31年4月23日	
499	取調べ状況報告書	平成31年2月7日	
500	取調べ状況報告書	平成31年2月8日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
501	取調べ状況報告書	平成30年12月14日	
502	取調べ状況報告書	平成31年2月8日	
503	取調べ状況報告書	令和元年6月4日	
504	取調べ状況報告書	令和元年6月20日	
505	取調べ状況報告書	平成30年12月11日	
506	取調べ状況報告書	平成31年2月26日	
507	取調べ状況報告書	平成31年3月4日	
508	取調べ状況報告書	平成31年3月19日	
509	取調べ状況報告書	平成31年3月27日	
510	取調べ状況報告書	平成31年4月12日	
511	取調べ状況報告書	平成31年4月23日	
512	取調べ状況報告書	令和元年6月7日	
513	取調べ状況報告書	令和元年6月24日	
514	取調べ状況報告書	令和元年7月12日	
515	取調べ状況報告書	令和元年8月9日	
516	取調べ状況報告書	平成30年12月11日	
517	取調べ状況報告書	平成31年1月31日	
518	取調べ状況報告書	令和元年5月15日	
519	取調べ状況報告書	令和元年6月18日	
520	取調べ状況報告書	令和元年6月20日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
521	取調べ状況報告書	令和元年7月4日	
522	取調べ状況報告書	令和元年7月11日	
523	取調べ状況報告書	令和元年7月25日	
524	取調べ状況報告書	令和元年8月7日	
525	取調べ状況報告書	令和元年9月4日	
526	取調べ状況報告書	令和元年11月5日	
527	取調べ状況報告書	平成31年3月12日	
528	取調べ状況報告書	令和元年6月14日	
529	取調べ状況報告書	令和元年11月22日	
530	取調べ状況報告書	平成30年12月14日	
531	取調べ状況報告書	平成31年2月21日	
532	取調べ状況報告書	令和元年5月27日	
533	取調べ状況報告書	令和元年6月14日	
534	取調べ状況報告書	令和元年8月22日	
535	取調べ状況報告書	令和元年9月19日	
536	取調べ状況報告書	平成30年12月13日	
537	取調べ状況報告書	平成30年12月14日	
538	取調べ状況報告書	平成31年2月21日	
539	取調べ状況報告書	令和元年8月19日	
540	取調べ状況報告書	平成30年12月17日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
541	取調べ状況報告書	令和元年9月11日	
542	取調べ状況報告書	平成30年12月19日	
543	取調べ状況報告書	平成30年12月21日	
544	取調べ状況報告書	令和元年6月28日	
545	取調べ状況報告書	令和元年7月5日	
546	取調べ状況報告書	平成30年12月25日	
547	取調べ状況報告書	令和元年11月26日	
548	取調べ状況報告書	平成30年12月25日	
549	取調べ状況報告書	令和元年7月1日	
550	取調べ状況報告書	平成30年12月25日	
551	取調べ状況報告書	平成30年12月25日	
552	取調べ状況報告書	令和元年5月9日	
553	取調べ状況報告書	平成30年12月26日	
554	取調べ状況報告書	平成31年3月14日	
555	取調べ状況報告書	平成30年12月26日	
556	取調べ状況報告書	平成31年4月2日	
557	取調べ状況報告書	令和元年6月23日	
558	取調べ状況報告書	令和元年7月13日	
559	取調べ状況報告書	令和元年12月3日	
560	取調べ状況報告書	平成31年1月10日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
561	取調べ状況報告書	平成31年1月10日	
562	取調べ状況報告書	平成31年1月21日	
563	取調べ状況報告書	平成31年2月4日	
564	取調べ状況報告書	平成31年1月19日	
565	取調べ状況報告書	平成31年1月23日	
566	取調べ状況報告書	平成31年1月31日	
567	取調べ状況報告書	平成31年2月13日	
568	取調べ状況報告書	令和元年6月20日	
569	取調べ状況報告書	令和元年7月4日	
570	取調べ状況報告書	令和元年8月26日	
571	取調べ状況報告書	令和元年9月20日	
572	取調べ状況報告書	平成31年1月29日	
573	取調べ状況報告書	平成31年2月8日	
574	取調べ状況報告書	令和元年11月19日	
575	取調べ状況報告書	令和元年11月26日	
576	取調べ状況報告書	令和元年12月3日	
577	取調べ状況報告書	平成31年2月15日	
578	取調べ状況報告書	令和元年10月8日	
579	取調べ状況報告書	平成31年2月21日	
580	取調べ状況報告書	平成31年3月5日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
581	取調べ状況報告書	令和元年11月5日	
582	取調べ状況報告書	平成31年3月4日	
583	取調べ状況報告書	平成31年3月11日	
584	取調べ状況報告書	平成31年3月15日	
585	取調べ状況報告書	平成31年3月14日	
586	取調べ状況報告書	平成31年3月20日	
587	取調べ状況報告書	平成31年3月26日	
588	取調べ状況報告書	平成31年4月3日	
589	取調べ状況報告書	平成31年4月16日	
590	取調べ状況報告書	令和元年6月20日	
591	取調べ状況報告書	平成31年4月4日	
592	取調べ状況報告書	平成31年4月10日	
593	取調べ状況報告書	平成31年4月22日	
594	取調べ状況報告書	令和元年5月31日	
595	取調べ状況報告書	令和元年6月21日	
596	取調べ状況報告書	令和2年1月29日	
597	取調べ状況報告書	平成31年4月15日	
598	取調べ状況報告書	平成31年4月22日	
599	取調べ状況報告書	令和元年6月22日	
600	取調べ状況報告書	令和元年7月9日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
601	取調べ状況報告書	令和元年7月12日	
602	取調べ状況報告書	令和元年8月19日	
603	取調べ状況報告書	令和元年12月9日	
604	取調べ状況報告書	令和元年12月9日	
605	訂正報告書	令和元年12月10日	
606	分析結果報告書（本社第433号 全体取扱説明書. pdf等）	令和元年10月11日	
607	分析結果報告書（本社第433号 7028_取説. docx等）	令和元年10月11日	
608	分析結果報告書（本社第433号 7028_画面付き運転要領書. docx等）	令和元年10月11日	
609	証拠品複写報告書（本社 第1125号物件 メールやりとり、メモ書き）	平成30年12月26日	
610	証拠品複写報告書（本社第253号物件 会議録）	平成31年1月21日	
611	証拠品複写報告書（押収品目録第1105号物件「社内審査書等」 本社強制）	平成31年1月21日	
612	証拠品複写報告書（本社 第1238号 安全保障輸出管理規定 付属書等）	平成31年2月6日	
613	証拠品複写報告書（本社第590号物件 技術関係資料）	平成31年1月25日	
614	証拠品複写報告書（本社 押収品目録第402号物件 船積み書類）	平成31年2月21日	
615	証拠品複写報告書（本社 第33号物件 製作依頼及び図面送付状）	平成31年3月6日	
616	出力印字及び翻訳結果報告書（ボツリヌス菌の乾熱殺菌に関する英語論文）	平成29年12月26日	
617	出力印字及び翻訳結果報告書（ボツリヌス菌の乾熱殺菌に関する英文資料）	平成29年12月22日	
618	資料入手及び翻訳結果報告書（ボツリヌス菌の乾熱殺菌に関する英文資料）	平成29年12月22日	
619	資料入手結果報告書（乾熱による各種芽胞の死滅時間）	平成30年1月18日	
620	捜査報告書（上海大川原「ツインジェットシリーズ」について）	平成30年8月6日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
621	捜査関係事項照会書（謄本）	平成 29 年 8 月 1 日	外事第一課長
622	同回答書	平成 29 年 8 月 1 日	■■■■■■■■■■
623	捜査関係事項照会書（謄本）	平成 29 年 7 月 3 日	外事第一課長
624	同回答書	平成 29 年 7 月 25 日	■■■■■■■■■■
625	捜査関係事項照会書（謄本）	平成 29 年 7 月 13 日	外事第一課長
626	同回答書	平成 29 年 7 月 18 日	■■■■■■■■■■
627	捜査関係事項照会書（謄本）	平成 29 年 11 月 1 日	外事第一課長
628	同回答書	平成 29 年 11 月 14 日	横浜南労働基準監督署長
629	証拠品複写報告書（平成29年9月25日 ■■■■ 任提）	平成 29 年 9 月 26 日	■■■■■■■■■■
630	任意提出書	平成 29 年 9 月 25 日	■■■■■■■■■■
631	領置調書	平成 29 年 9 月 25 日	■■■■■■■■■■
632	捜査報告書（任意提出書処分意見欄の未記載について）	平成 29 年 11 月 1 日	■■■■■■■■■■
633	任意提出書	平成 29 年 10 月 30 日	■■■■■■■■■■
634	領置調書	平成 29 年 10 月 30 日	■■■■■■■■■■
635	任意提出書	平成 30 年 3 月 16 日	■■■■■■■■■■
636	領置調書	平成 30 年 3 月 16 日	■■■■■■■■■■
637	任意提出書	平成 30 年 4 月 19 日	■■■■■■■■■■
638	領置調書	平成 30 年 4 月 19 日	■■■■■■■■■■
639	任意提出書	平成 30 年 5 月 29 日	■■■■■■■■■■
640	領置調書	平成 30 年 5 月 29 日	■■■■■■■■■■

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
641	任意提出書	平成 30 年 6 月 8 日	
642	領置調書	平成 30 年 6 月 8 日	
643	任意提出書	平成 30 年 7 月 11 日	
644	領置調書	平成 30 年 7 月 13 日	
645	任意提出書	平成 30 年 7 月 11 日	
646	領置調書	平成 30 年 7 月 11 日	
647	任意提出書	平成 30 年 10 月 3 日	
648	領置調書	平成 30 年 10 月 3 日	
649	訂正報告書	令和 2 年 3 月 25 日	
650	任意提出書	平成 30 年 10 月 3 日	
651	領置調書	平成 30 年 10 月 3 日	
652	任意提出書	平成 30 年 10 月 10 日	
653	領置調書	平成 30 年 10 月 10 日	
654	任意提出書	平成 31 年 2 月 8 日	
655	領置調書	平成 31 年 2 月 8 日	
656	任意提出書	平成 31 年 2 月 15 日	
657	領置調書	平成 31 年 2 月 15 日	
658	任意提出書	平成 31 年 3 月 7 日	
659	領置調書	平成 31 年 3 月 7 日	
660	捜査報告書（任意提出書住居欄の訂正について）	平成 31 年 3 月 12 日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
661	任意提出書	平成31年3月8日	
662	領置調書	平成31年3月8日	
663	任意提出書	平成31年3月12日	
664	領置調書	平成31年3月12日	
665	任意提出書	平成31年2月5日	
666	領置調書	平成31年2月5日	
667	任意提出書	平成31年3月19日	
668	領置調書	平成31年3月19日	
669	任意提出書	令和元年6月12日	
670	領置調書	令和元年6月12日	
671	任意提出書	令和元年7月19日	
672	領置調書	令和元年7月19日	
673	任意提出書	令和元年8月8日	
674	領置調書	令和元年8月8日	
675	任意提出書	令和元年12月12日	
676	領置調書	令和元年12月12日	
677	電話聴取結果報告書（株式会社 装置内部の温度）	令和2年4月2日	
678	取調べ状況報告書	令和2年3月17日	
679	取調べ状況報告書	令和2年3月19日	
680	出力印字結果報告書（本社第480号 出張報告書）	平成31年1月30日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
681	出力印字結果報告書（本社第480号 MESSRS.中国電子科技集団公司第十二研究所と表題の文書）	平成31年1月30日	
682	証拠品複写報告書（ XXXXXXXXXX 任提「対比表」）	平成30年3月26日	
683	証拠品複写報告書（赤松 靖生 任提「仕様書」）	平成30年6月8日	
684	押収品複写報告書（パスポート）	平成30年10月3日	
685	証拠品複写報告書（本社第628号物件 大川 原正明旅券）	平成30年10月9日	
686	証拠品複写報告書（本社第555号物件 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX 株式会社従業員の名刺）	平成30年12月3日	
687	複写報告書（本社第778号物件 業務資料等）	平成31年1月9日	
688	証拠品複写報告書（押収品目録第23号物件「見積書」 本社強制）	平成31年1月21日	
689	証拠品複写報告書（押収品目録第629号物件「名刺」 本社強制）	平成31年1月21日	
690	証拠品複写報告書（本社 押収品目録第779号物件 営業管理規定）	平成31年1月17日	
691	証拠品複写報告書（本社第677号 受注関係書類）	平成31年1月24日	
692	証拠品複写報告書（本社第412号物件 経営企画機能）	平成31年1月25日	
693	証拠品複写報告書（本社第467号物件 名刺）	平成31年1月25日	
694	証拠品複写報告書（本社第145号物件 定型機工番ファイル）	平成31年1月28日	
695	証拠品複写報告書（本社第413号物件 海外納入実績）	平成31年1月25日	
696	証拠品複写報告書（粉体技術研究所第22号物件 ノート）	平成30年12月19日	
697	証拠品複写報告書（粉体技術研究所第37号物件 発令文書・業務月報）	平成30年12月19日	
698	証拠品複写報告書（平成31年1月24日 XXXXXXXXXX 任提）	平成31年2月7日	
699	証拠品複写報告書（平成31年3月12日 XXXXXXXXXX 任提）	平成31年3月12日	
700	旅券複写報告書	平成30年10月3日	

供述調書及び証拠書類一覧表

番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
701	複写報告書（徐 建華宅第37号物件 貿易関連書類）	平成31年2月1日	
702	複写報告書（徐 建華宅第54号物件 研究資料）	平成31年2月1日	
703	複写報告書（徐 建華宅第55号物件 教養関係資料）	平成31年2月1日	
704	証拠品複写報告書（本社第5 2号物件 輸出関係書類等）	令和元年5月29日	
705	証拠品複写報告書（本社第1 3 5号物件 工番ファイル「2015VS0806ZF」案件）	令和元年6月17日	
706	聴取結果報告書（化学及血清療法研究所）	平成29年9月23日	
707	聴取結果報告書（株式会社）	平成30年3月26日	
708	聴取結果報告書（株式会社）	平成31年3月28日	
709	資料入手結果報告書（「バイオテロ」に関する資料）	平成30年2月20日	
710	資料入手結果報告書（「噴霧乾燥技術」に関する資料）	平成30年2月15日	
711	資料入手結果報告書（化血研資料）	平成29年9月25日	
712	資料入手結果報告書（「スプレードライヤ技術」に関する資料）	平成30年2月16日	
713	出力印字及び翻訳結果報告書（AGハンドブック）	平成31年2月4日	
714	出力印字結果報告書	令和元年5月17日	
715	鑑定嘱託書（謄本）	平成31年4月3日	外事第一課長
716	同回答書	平成31年4月25日	科学捜査研究所長
717	鑑定嘱託書（謄本）	平成31年4月3日	外事第一課長
718	同回答書	平成31年4月25日	科学捜査研究所長
719	鑑定嘱託書（謄本）	平成31年4月3日	外事第一課長
720	同回答書	平成31年4月25日	科学捜査研究所長

番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
721	捜査関係事項照会書（謄本）	平成30年3月6日	外事第一課長
722	同回答書	平成30年4月4日	医療法人██████████
723	捜査関係事項照会書（謄本）	平成30年6月21日	外事第一課長
724	同回答書	平成31年3月18日	科学警察研究所長
725	電話聴取結果報告書（科警研）	令和元年7月18日	██████████
726	供述調書	令和2年3月24日	██████████
727	供述調書	令和2年3月24日	██████████
728	供述調書	令和2年3月18日	██████████
729	供述調書	令和2年3月24日	██████████
730	供述調書（甲）	令和元年5月17日	██████████
731	供述調書（甲）	令和元年9月11日	██████████
732	弁解録取書	令和2年3月11日	██████████
733	供述調書（甲）	令和2年3月11日	██████████
734	供述調書作成経過報告書	令和2年3月12日	██████████
735	勾留質問調書	令和2年3月13日	██████████
736	取調べ状況報告書	平成31年1月12日	██████████
737	取調べ状況報告書	平成31年1月27日	██████████
738	取調べ状況報告書	平成31年1月31日	██████████
739	取調べ状況報告書	平成31年2月8日	██████████
740	取調べ状況報告書	平成31年2月13日	██████████

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
741	取調べ状況報告書	平成31年2月14日	
742	取調べ状況報告書	平成31年2月25日	
743	取調べ状況報告書	平成31年2月28日	
744	取調べ状況報告書	平成31年3月12日	
745	取調べ状況報告書	平成31年4月4日	
746	取調べ状況報告書	平成31年4月19日	
747	取調べ状況報告書	平成31年4月25日	
748	取調べ状況報告書	平成31年4月28日	
749	取調べ状況報告書	令和元年5月29日	
750	取調べ状況報告書	令和元年6月5日	
751	取調べ状況報告書	令和元年6月18日	
752	取調べ状況報告書	令和元年6月26日	
753	取調べ状況報告書	令和元年7月4日	
754	取調べ状況報告書	令和元年7月11日	
755	取調べ状況報告書	令和元年7月19日	
756	取調べ状況報告書	令和元年7月24日	
757	取調べ状況報告書	令和元年8月8日	
758	取調べ状況報告書	令和元年8月27日	
759	取調べ状況報告書	令和元年9月5日	
760	取調べ状況報告書	令和元年9月30日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
761	取調べ状況報告書	令和元年10月10日	
762	取調べ状況報告書	令和元年11月13日	
763	取調べ状況報告書	令和元年12月5日	
764	取調べ状況報告書	令和元年12月20日	
765	取調べ状況報告書	令和2年1月18日	
766	取調べ状況報告書	令和2年1月30日	
767	取調べ状況報告書	令和2年2月12日	
768	取調べ状況報告書	令和2年2月26日	
769	取調べ状況報告書	令和2年3月11日	
770	取調べ状況報告書	平成31年2月19日	
771	取調べ状況報告書	令和元年5月17日	
772	取調べ状況報告書	令和元年9月11日	
773	取調べ状況報告書	令和元年10月21日	
774	取調べ状況報告書	令和元年10月28日	
775	取調べ状況報告書	令和元年11月19日	
776	取調べ状況報告書	令和元年11月25日	
777	取調べ状況報告書	令和元年12月10日	
778	取調べ状況報告書	令和2年3月13日	
779	取調べ状況報告書	令和2年3月14日	
780	取調べ状況報告書	令和2年3月15日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
781	取調べ状況報告書	令和2年3月16日	
782	取調べ状況報告書	令和2年3月17日	
783	取調べ状況報告書	令和2年3月18日	
784	取調べ状況報告書	令和2年3月20日	
785	取調べ状況報告書	令和2年3月22日	
786	取調べ状況報告書	令和2年3月23日	
787	取調べ状況報告書	令和2年3月24日	
788	取調べ状況報告書	令和2年3月25日	
789	取調べ状況報告書	令和2年3月28日	
790	取調べ状況報告書	令和2年3月31日	
791	取調べ状況等報告書	令和2年3月12日	
792	取調べ状況等報告書	令和2年3月19日	
793	取調べ状況等報告書	令和2年3月26日	
794	取調べ状況等報告書	令和2年3月30日	
795	供述調書（甲）	平成31年1月15日	
796	捜査報告書（供述調書の奥書の記載事項の訂正について）	平成31年1月15日	
797	供述調書（甲）	平成31年1月25日	
798	弁解録取書	令和2年3月11日	
799	訂正報告書	令和2年3月11日	
800	供述調書（甲）	令和2年3月11日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
801	勾留質問調書	令和2年3月13日	
802	取調べ状況報告書	平成31年1月16日	
803	取調べ状況報告書	平成31年1月24日	
804	取調べ状況報告書	平成31年2月14日	
805	取調べ状況報告書	平成31年2月15日	
806	取調べ状況報告書	平成31年3月13日	
807	取調べ状況報告書	令和元年5月16日	
808	取調べ状況報告書	令和元年7月11日	
809	取調べ状況報告書	令和元年7月12日	
810	取調べ状況報告書	令和元年9月5日	
811	取調べ状況報告書	令和元年9月27日	
812	取調べ状況報告書	令和元年10月10日	
813	取調べ状況報告書	令和元年11月7日	
814	取調べ状況報告書	令和元年12月17日	
815	取調べ状況報告書	令和2年1月10日	
816	取調べ状況報告書	平成31年1月15日	
817	取調べ状況報告書	平成31年1月25日	
818	取調べ状況報告書	令和元年9月11日	
819	取調べ状況報告書	令和元年11月28日	
820	取調べ状況報告書	令和2年1月23日	

供述調書及び証拠書類一覧表

番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
821	取調べ状況報告書	令和2年3月11日	
822	取調べ状況報告書	令和2年3月13日	
823	取調べ状況報告書	令和2年3月14日	
824	取調べ状況報告書	令和2年3月15日	
825	取調べ状況報告書	令和2年3月16日	
826	取調べ状況報告書	令和2年3月17日	
827	取調べ状況報告書	令和2年3月19日	
828	取調べ状況報告書	令和2年3月20日	
829	取調べ状況報告書	令和2年3月21日	
830	取調べ状況報告書	令和2年3月23日	
831	取調べ状況報告書	令和2年3月24日	
832	取調べ状況報告書	令和2年3月25日	
833	取調べ状況報告書	令和2年3月28日	
834	取調べ状況報告書	令和2年3月29日	
835	訂正報告書	令和2年4月2日	
836	取調べ状況報告書	令和2年3月30日	
837	取調べ状況等報告書	令和2年3月12日	
838	取調べ状況等報告書	令和2年3月18日	
839	取調べ状況等報告書	令和2年3月26日	
840	供述調書（甲）	令和元年5月10日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
841	弁解録取書	令和2年3月11日	
842	供述調書（甲）	令和2年3月11日	
843	勾留質問調書	令和2年3月13日	
844	取調べ状況報告書	平成30年12月11日	
845	取調べ状況報告書	平成30年12月20日	
846	取調べ状況報告書	平成30年12月26日	
847	取調べ状況報告書	平成31年1月10日	
848	取調べ状況報告書	平成31年1月18日	
849	取調べ状況報告書	平成31年2月8日	
850	取調べ状況報告書	平成31年2月27日	
851	取調べ状況報告書	平成31年3月29日	
852	取調べ状況報告書	令和元年5月3日	
853	取調べ状況報告書	令和元年5月21日	
854	取調べ状況報告書	令和元年5月30日	
855	取調べ状況報告書	令和元年6月6日	
856	取調べ状況報告書	令和元年6月14日	
857	取調べ状況報告書	令和元年7月8日	
858	取調べ状況報告書	令和元年7月22日	
859	取調べ状況報告書	令和元年8月9日	
860	取調べ状況報告書	令和元年9月5日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
861	取調べ状況報告書	令和元年9月27日	
862	取調べ状況報告書	令和元年10月8日	
863	取調べ状況報告書	令和元年11月1日	
864	取調べ状況報告書	令和元年11月20日	
865	取調べ状況報告書	令和元年12月6日	
866	取調べ状況報告書	令和元年12月23日	
867	取調べ状況報告書	令和2年1月20日	
868	取調べ状況報告書	令和2年2月10日	
869	取調べ状況報告書	令和2年3月11日	
870	取調べ状況報告書	平成31年1月29日	
871	取調べ状況報告書	平成31年2月15日	
872	取調べ状況報告書	平成31年2月22日	
873	取調べ状況報告書	平成31年3月6日	
874	取調べ状況報告書	平成31年3月13日	
875	取調べ状況報告書	平成31年3月25日	
876	取調べ状況報告書	平成31年4月3日	
877	取調べ状況報告書	平成31年4月19日	
878	取調べ状況報告書	平成31年4月25日	
879	取調べ状況報告書	令和元年5月10日	
880	取調べ状況報告書	令和元年6月25日	

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
881	取調べ状況報告書	令和元年8月23日	
882	取調べ状況報告書	令和元年9月19日	
883	取調べ状況報告書	令和元年10月24日	
884	取調べ状況報告書	令和2年3月13日	
885	取調べ状況報告書	令和2年3月14日	
886	取調べ状況報告書	令和2年3月15日	
887	訂正報告書	令和2年3月15日	
888	取調べ状況報告書	令和2年3月16日	
889	取調べ状況報告書	令和2年3月17日	
890	取調べ状況報告書	令和2年3月19日	
891	取調べ状況報告書	令和2年3月20日	
892	取調べ状況報告書	令和2年3月22日	
893	取調べ状況報告書	令和2年3月23日	
894	取調べ状況報告書	令和2年3月24日	
895	取調べ状況報告書	令和2年3月28日	
896	取調べ状況報告書	令和2年3月29日	
897	取調べ状況報告書	令和2年3月30日	
898	取調べ状況等報告書	令和2年3月12日	
899	取調べ状況等報告書	令和2年3月18日	
900	取調べ状況等報告書	令和2年3月26日	

別紙

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
901	録音・録画記録媒体作成報告書	令和2年5月1日	
902	録音・録画記録媒体作成報告書	令和2年5月1日	
903	録音・録画記録媒体作成報告書	令和2年5月1日	
904	録音・録画記録媒体作成報告書	令和2年5月1日	
905	録音・録画記録媒体作成報告書	令和2年5月1日	
906	録音・録画記録媒体作成報告書	令和2年5月1日	

- 3月14日 ・島田は、「経産省にその回答をするの際に、相嶋さんに相談した。相嶋さんから『こういう説明をしろ』と指示されました。」と供述していた。
※実際にはそのような島田の発言は存在しない。
・島田の供述調書に、蒸気滅菌に限定するよう経産省に求めたのは、相嶋さんの指示であったと書いてあるし、相嶋さんが「蒸気滅菌に限定しなかったら大川原化工機のスプレッドライヤーが輸出できなくなる」と言っていたとも書いてある。
何人かの従業員もそう言っていた。
※実際にはそのような発言は存在しない。
・島田も、今回問題になっている装置を受注するときに相嶋さんに相談したと言ってる。
※実際にはそのような島田の発言は存在しない。
・社長が逮捕されて、いろいろ話してるみたいだ。
社長は逮捕されてから「今回の件の輸出に関して、最終的に決めたのは私だけれども、そこまでいく筋道立てたのは島田さん。輸出すると決めるときには、相嶋さんにいろいろ相談した」と、言っている
※実際にはそのような大川原社長の発言は存在しない。
- 3月15日 ・黙ってると長くなるんだけどな。
・長くなるから黙秘はよくないよね。
スリとか痴漢でも1年ぐらいかかることあるんだよ。
・前は、極左、中核派とか指定団体を相手に仕事していて、彼らは黙秘するけど、普通の人は黙秘しませんよ。
・相嶋さんの場合だったら言いたいこと言っといた方がいいんじゃないの。
話した方が得だよ。
・島田さんが相嶋さんに相談したって言ってる調書があるよ。
※実際にはそのような島田の発言は存在しない。
・実際に■■■■さんの上で判子押してるのは■■■■さん、■■■■さんですよ。
社員の誰かが悪者になるようなことになってもいいの？
- 3月16日 ・本当にこの方向でいいんですか。
・黙秘は会社のためにやってるんですか。
あなたが悪いことやってないんだったら、やってないって言ったらどうですか。
- 3月17日 ・島田は、■■■■さんに非該当だと指示したのは、社長や相嶋さんが自分にそうするように言ったから」と言ってるよ。島田さんはがずっと前からそう言ってるから。
※実際にはそのような島田の発言は存在しない。
・黙秘はためにならないから。
・話して早く会社に戻ってあげた方がいいんじゃないですか。
・こういうことやってんのは不起訴を狙ってるんですかね？
- 3月18日 ・黙ってるってことは認めてるんですか。
・話した方が簡単に済むから。
あなたと社長と島田さんがいないと会社が大変じゃないですか。
・寝てるんですか？
・まだしゃべらないんですか。
・黙っててもいいことないですよ。
・じゃあ長くなりますね。
- 3月19日 ・黙秘するって決めたのか。
それは後悔ないな。
・本当にそれでいいんですか。
・黙秘して罪は軽くなりませんよ
・黙秘した人は何人も見てますよ。良かったことはないと思うんですけど。
・社長が大分前にはなしてたことだけど、スプレッドライヤーについて、相嶋が、何でもかんでも申請することはないと言ったので、ほとんど非該当と思った、言ってるよ
※実際にはそのような大川原社長の発言は存在しない
・あなたはそんな人じゃないんじゃないですか。
・(黙秘したら)起訴不起訴に影響するんじゃないの。
- 3月20日 ・こういう方法は後悔することになるよ。
・良い方法だとは思えないけども。
・黙秘したら長くなりますよ。
・コロナで世の中大変なのに、3人いなくて大変ですね。

令和2年特（わ）第858号 令和2年3月31日公訴提起 同月13日勾留

（刑事第13部係属）

勾 留 執 行 停 止 決 定

被告人 相嶋 静夫

昭和23年 [REDACTED] 生

被告人に対する外国為替及び外国貿易法違反被告事件について、令和2年5月28日、主任弁護士小林貴樹、弁護士高田剛、弁護士鄭一志、弁護士河村尚及び弁護士瀬川慶から勾留執行停止の申立てがあったので、令和2年5月31日午前10時から同日午後6時30分まで勾留の執行を停止する。

釈放後は、次の指定条件を忠実に守らなければならない。これに違反したときは本決定を取り消されることがある。

指 定 条 件

1 被告人は、次の(1)又は(2)のいずれかの場所に在所しなければならない。

(1) [REDACTED] 被告人方

(2) [REDACTED] 苑

2 被告人は、逃げ隠れしたり、証拠隠滅と思われるような行為をしてはならない。

3 被告人は、本件事件関係人に対し、面接、通信、電話等による一切の接触をしてはならない。

4 被告人は、刑事収容施設からの往復及び上記1記載の各場所間の移動に際しては、弁護士河村尚が同道することを拒否してはならない。

5 被告人は、勾留執行停止期間中、上記4記載の弁護士河村尚と行動を共にし、その監督に服さなければならない。

令和2年5月29日

東京地方裁判所刑事第14部

裁 判 官 遠 藤 圭一郎

これは謄本である。

同 日 同 庁

裁判所書記官 青 柳 元 康

令和2年（記）第50009号

令和2年5月28日勾留

勾留執行停止決定

被疑者 相嶋 静夫

昭和234 [REDACTED] 生

被疑者に対する外国為替及び外国貿易法違反被疑事件について、弁護士高田剛、弁護士河村尚及び弁護士小林貴樹から申立てがあったので、検察官の意見を聴いた上、令和2年5月31日午前10時から同日午後6時30分まで勾留の執行を停止する。

釈放後は、次の指定条件を忠実に守らなければならない。これに違反したときは本決定を取り消されることがある。

指 定 条 件

- 1 被疑者は、次の(1)又は(2)のいずれかの場所に在所しなければならない。
 - (1) [REDACTED] 被疑者方
 - (2) [REDACTED] 苑
- 2 被疑者は、逃げ隠れしたり、証拠隠滅と思われるような行為をしてはならない。
- 3 被疑者は、本件事件関係人に対し、面接、通信、電話等による一切の接触をしてはならない。
- 4 被疑者は、刑事収容施設からの往復及び上記1記載の各場所間の移動に際しては、弁護士河村尚が同道することを拒否してはならない。
- 5 被疑者は、勾留執行停止期間中、上記4記載の弁護士河村尚と行動を共にし、同人の監督に服さなければならない。

令和2年5月29日

東京地方裁判所刑事第14部

裁 判 官 遠 藤 圭一郎



これは謄本である。

同 日 同 庁

裁判所書記官 青 柳 元 康

